

## 主な県立施設の経営状況

### 1. 目的

県では、県民福祉の増進を目的に、県民が広く利用できる「公の施設」を設置しています。施設の管理運営は、県が自ら行うものや、財団や民間企業等に委託しているものがありますが、今後の効率的な施設運営、維持管理に役立てるため、ここでは、各施設が1つの法人になったと仮定して、企業会計的な手法を取り入れ、施設にかかっているすべてのコストを算定しました。

### 2. 対象施設

県が設置した施設で、市町に管理を委託している施設、利用者数・減価償却費などの把握が困難な施設、利用者が限定される試験研究機関等を除いた 35 施設について作成しました。対象施設と供用開始年度、指定管理者制度の導入状況は以下のとおりです。

教育研修			健康・スポーツ		
香川県青年センター	S44	◎	香川県立武道館	S41	◎
香川県立保健医療大学	H11		香川県立総合水泳プール	H 2	◎
香川県立高等技術学校	S42		香川県総合運動公園	S57	◎
香川県立農業大学校	S52		香川県立丸亀競技場	H 9	◎
香川県立五色台少年自然センター	S46		<b>公園</b>		
香川県立屋島少年自然の家	S50		瀬戸大橋記念公園	S63	◎
<b>福祉医療</b>			栗林公園	M 8	
香川県社会福祉総合センター	H 9	◎	香川用水記念公園	H 9	◎
さぬきこどもの国	H 7	◎	<b>産業振興</b>		
香川県立斯道学園	S22		香川県産業交流センター (サンメッセ香川)	H 5	◎
香川県立川部みどり園	S27		香川県新規産業創出支援センター (ネクスト香川)	H11	◎
香川県ふじみ園	S54	◎			
かがわ総合リハビリテーションセンター	S61	◎			
<b>動物愛護管理</b>			香川県科学技術研究センター (FROM香川)	H12	◎
さぬき動物愛護センター	H30				
<b>生涯学習・文化・交流施設</b>			<b>駐車場</b>		
情報通信交流館	H16	◎	香川県番町地下駐車場	H 5	◎
香川県立文書館	H 5		香川県玉藻町駐車場	H 9	◎
香川国際交流会館	H 7	◎	多目的広場地下駐車場	H16	◎
サンポート高松交流拠点施設	H16	◎	高松空港県営駐車場	H26	◎
香川県立図書館	H 5				
香川県立ミュージアム	H11				
香川県県民ホール	S63	◎			
東山魁夷せとうち美術館	H17				

◎：指定管理者制度の導入施設

### 3. 作成基準

総務省が平成13年3月に策定した「地方公共団体のための総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」に準じて作成しました。

従来からの決算収支をベースに、減価償却費、公債費（利子）等、その他施設にかかっているすべての費用（行政コスト）を明らかにしました。

#### 例 公共施設のコスト計算書

施設名		香川県青年センター	
所在地	香川県高松市国分寺町国分1009番地	供用開始年度	昭和44年度
施設の種別	青少年健全育成施設	施設設置根拠	香川県青年センター条例
設置目的	青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（一般社団法人香川県青年団体育成支援協議会）（平成24年12月1日から指定管理者制度を導入）		
整備事業費	765,085千円	施設の概要	
		【施設】 研修宿泊棟（本館）、付属棟（別館）、倉庫棟、体育館、野外活動場（芝生広場、グラウンド） ※研修宿泊棟、付属棟及び倉庫棟は平成24年10月に新築竣工、同年11月再オープン。 研修宿泊棟には、昇降機1基と太陽光発電システム（6.47kWh）を導入。 総敷地面積 20,257.18㎡ 建物延面積 2,806.82㎡	
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大会議室（4h）	1,440円	平成24年4月1日～平成24年11月30日：直接運営 職員7名（正規職員2名、嘱託職員5名）	
小会議室（4h）	400円	平成24年12月1日～令和5年3月31日：全部委託	
野外活動場（4h）	2,080円	職員9名（所長1名、部長1名、係5名、宿直員2名）	
宿泊施設（1泊）	洋室1,790円、和室1,540円		
体育館（1hあたり）	全面1,470円、半面880円		

土地取得費のほか、建物を建築するのに要した経費を記載しています。  
（現存データを活用し、取得費が不明なものについては、記載していません。）

整備のためにあてた県債の残高を記載しています。

行政コスト計算書				
【行政コスト】 令和4年度 (千円)				
項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	21,514 38.2%	21,189	325
	退職給与引当金繰入等	624 1.1%	574	50
	小計	22,138 39.3%	21,763	375
物にかかるコスト	物件費	14,695 26.1%	13,685	1,010
	維持補修費	1,722 3.1%	9,018	△ 7,296
	減価償却費	16,112 28.6%	15,954	158
	その他			
小計	32,529 57.8%	38,657	△ 6,128	
その他のコスト	公債費（利子のみ）	1,516 2.7%	1,588	△ 72
	その他	113 0.2%	87	26
	小計	1,629 2.9%	1,675	△ 46
行政コスト合計 ①	56,296 100.0%	62,095	△ 5,799	
【収入項目】				
使用料・手数料	14,515 25.8%	11,043	3,472	
国庫支出金				
その他				
計 ②	14,515 25.8%	11,043	3,472	
県単独負担額 ①-②	41,781 74.2%	51,052	△ 9,271	

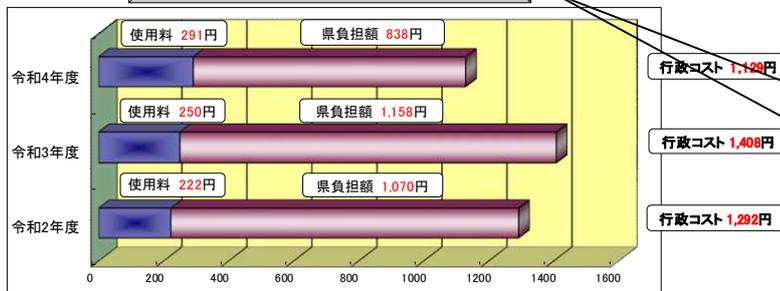
●県債残高(R5.3.31現在) 266,310千円

●利用の状況 (年間利用者数)	
R2	49,855人
R3	44,099人
R4	49,850人

●コスト指標 (利用者1人当たりのコスト)	
R2	1,292円
R3	1,408円
R4	1,129円

設備投資等、資産の形成にかかる経費を除いて、施設を運営するのに要したすべての経費を記載しています。  
収入項目の「県単独負担額」とは、「行政コスト合計」から使用料等の収入を引いた額です。

#### 利用者1人当たりのコスト負担の状況



利用1回当たり、利用者1人当たりにかかるコストを経年比較しています。

●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況  
指定管理者制度導入によりコスト縮減を図っている。  
また、施設利用の促進については、指定管理者が自主事業として「全国青年問題研究会」等を開催し、施設の知名度向上や年間利用者数の増加を図っている。

## 4. 概要一覧

### (I) 利用1回当たりのコスト

分類	名称	行政コスト (千円) ①	利用件数 ②	利用1回当たりのコスト (円) ①/②		財源内訳(円)			利用者 負担率	1回当たり コスト比較 R4/R3	利用件数 対前年度 増減率	
						利用料	財産 収入等	県単独 負担額				
教育研修	香川県青年センター	56,296	49,850人	1人当たり	1,129	291	0	838	25.8%	80.2%	13.0%	
	香川県立五色台少年自然センター	205,596	13,496人	1人当たり	15,234	119	943	14,172	0.8%	58.7%	55.2%	
	香川県立屋島少年自然の家	152,318	12,889人	1人当たり	11,818	142	1,143	10,533	1.2%	56.4%	96.3%	
福祉医療	香川県社会福祉総合センター	311,721	134,430人	1人当たり	2,319	327	102	1,890	14.1%	79.0%	27.2%	
	さぬきこどもの国	788,693	429,512人	1人当たり	1,836	48	62	1,726	2.6%	53.7%	89.7%	
動物愛護管理	さぬき動物愛護センター	184,115	7,794人	1人当たり	23,623	0	12,092	11,531	0.0%	83.1%	20.4%	
生涯学習・文化・交流施設	情報通信交流館	264,288	90,211人	1人当たり	2,930	151	66	2,713	5.2%	98.6%	17.7%	
	香川県立文書館	179,883	41,938人	1人当たり	4,289	79	33	4,177	1.8%	85.3%	9.1%	
	香川国際交流会館	46,741	65,024人	1人当たり	719	104	0	615	14.5%	77.8%	21.9%	
	サンポート高松交流拠点施設	534,262	利用の状況: 国際会議場 稼働率47.3%、展示場 稼働率47.6%、観光情報センター 利用者数 27,719人 産業振興センター 入居率100%、多目的広場 稼働率16.9%、タワー地下駐車場 利用台数25,624台									
	香川県立図書館	364,565	396,949人	1人当たり	918	0	5	913	0.0%	98.6%	▲ 3.1%	
	香川県立ミュージアム	704,490	79,097人	1人当たり	8,907	287	373	8,247	3.2%	68.9%	54.0%	
	香川県県民ホール	869,221	351,896人	1人当たり	2,470	477	145	1,848	19.3%	54.2%	97.6%	
東山魁夷せとうち美術館	96,945	33,305人	1人当たり	2,911	182	125	2,604	6.3%	60.0%	107.9%		
健康・スポーツ	香川県立武道館	61,468	48,025人	1人当たり	1,280	52	119	1,109	4.1%	95.7%	10.2%	
	香川県立総合水泳プール	215,687	116,229人	1人当たり	1,856	176	226	1,454	9.5%	86.3%	10.5%	
	香川県総合運動公園	208,501	212,544人	1人当たり	981	91	65	825	9.3%	64.0%	54.5%	
	香川県立丸亀競技場	524,265	234,768人	1人当たり	2,233	101	97	2,035	4.5%	69.2%	45.5%	
公園	瀬戸大橋記念公園	278,184	414,600人	1人当たり	671	11	130	530	1.6%	80.2%	28.4%	
	栗林公園	385,979	577,588人	1人当たり	668	335	15	318	50.1%	47.8%	88.5%	
	香川用水記念公園	96,301	65,710人	1人当たり	1,466	0	0	1,466	0.0%	114.4%	9.9%	
産業振興	香川県産業交流センター(サンメッセ香川)	346,667	262,000人	1人当たり	1,323	609	6	708	46.0%	41.0%	184.8%	
駐車場	香川県番町地下駐車場	146,322	71,124台	1台当たり	2,057	665	7	1,385	32.3%	99.8%	11.8%	
	香川県玉藻町駐車場	97,143	61,989台	1台当たり	1,567	805	0	762	51.4%	51.4%	99.0%	
	多目的広場地下駐車場	187,838	98,326台	1台当たり	1,910	785	0	1,125	41.1%	85.3%	17.2%	
	高松空港県営駐車場	7,083	5,651台	1台当たり	1,253	0	1,253	0	0.0%	6.7%	1694.0%	

(II)1人当たりの年間利用コスト

分類	名称	行政コスト (千円) ①	利用件数 ②	1人当たりのコスト (円) ①/②		財源内訳(円)			利用者 負担率	1人当たり コスト比較 R4/R3	利用件数 対前年度 増減率
						利用料	財産 収入等	県単独 負担額			
教育研修	香川県立保健医療大学	1,011,954	399人	1人当たり	2,536,226	534,193	1,972,747	29,286	21.1%	99.1%	0.5%
	香川県立高等技術学校	604,074	912人	1人当たり	662,362	18,009	268,366	375,987	2.7%	104.5%	▲ 1.5%
	香川県立農業大学校	237,407	111人	1人当たり	2,138,802	79,126	140,568	1,919,108	3.7%	82.9%	11.0%
福祉医療	香川県立斯道学園	259,939	10人	1人当たり	25,993,900	7,845,200	183,000	17,965,700	30.2%	121.7%	▲ 16.7%
	香川県立川部みどり園	760,685	60人	1人当たり	12,678,083	3,404,283	24,650	9,249,150	26.9%	102.1%	▲ 1.6%
	香川県ふじみ園	678,554	142人	1人当たり	4,778,549	3,197,001	305,803	1,275,745	66.9%	103.3%	▲ 1.4%
	かがわ総合リハビリテーションセンター	3,280,810	423.8人	1人当たり	7,741,411	5,630,607	12,626	2,098,178	72.7%	103.8%	▲ 6.8%
産業振興	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)	92,259	238企業・グループ	1企業・グループ 当たり(年間)	387,643	248,731	0	138,912	64.2%	104.9%	▲ 6.3%
	香川県科学技術研究センター(FROM香川)	74,524	87企業・グループ	1企業・グループ 当たり(年間)	856,598	1,345	0	855,253	0.2%	93.3%	2.4%

注) 福祉施設の利用料には、自立支援給付費等が含まれます。

注) 香川県新規産業創出支援センターと香川県科学技術研究センターは、利用した1企業・グループ当たりの年間コストを算出しています。

公共施設のコスト計算書

施設名		香川県青年センター	
所在地	香川県高松市国分寺町国分1009番地	供用開始年度	昭和44年度
施設の種類	青少年健全育成施設	施設設置根拠	香川県青年センター条例
設置目的	青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（一般社団法人香川県青年団体育成支援協議会）（平成24年12月1日から指定管理者制度を導入）		
整備事業費	765,085千円	施設の概要	
		【施設】	研修宿泊棟（本館）、付属棟（別館）、倉庫棟、体育館、野外活動場（芝生広場、グラウンド） ※研修宿泊棟、付属棟及び倉庫棟は平成24年10月に新築竣工、同年11月再オープン。 研修宿泊棟には、昇降機1基と太陽光発電システム（6.47kWh）を導入。 総敷地面積 20,257.18㎡ 建物延面積2,806.82㎡
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大会議室(4h)	3,680円	平成24年4月1日～平成24年11月30日：直接運営 職員7名（正規職員2名、嘱託職員5名）	
小会議室(4h)	1,200円	平成24年12月1日～令和5年3月31日：全部委託	
野外活動場(4h)	2,160円	職員9名（所長1名、部長1名、係5名、宿直員2名）	
宿泊施設(1泊)	洋室1,820円、和室1,570円		
体育館(1hあたり)	全面1,490円、半面890円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和4年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	21,514	38.2%	21,189	325
	退職給与引当金繰入等	624	1.1%	574	50
	小計	22,138	39.3%	21,763	375
物にかかるコスト	物件費	14,695	26.1%	13,685	1,010
	維持補修費	1,722	3.1%	9,018	△ 7,296
	減価償却費	16,112	28.6%	15,954	158
	その他				
小計	32,529	57.8%	38,657	△ 6,128	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,516	2.7%	1,588	△ 72
	その他	113	0.2%	87	26
	小計	1,629	2.9%	1,675	△ 46
行政コスト合計 ①	56,296	100.0%	62,095	△ 5,799	

●県債残高(R5.3.31現在)

266,310 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	40,855人
R3	44,099人
R4	49,850人

●コスト指標

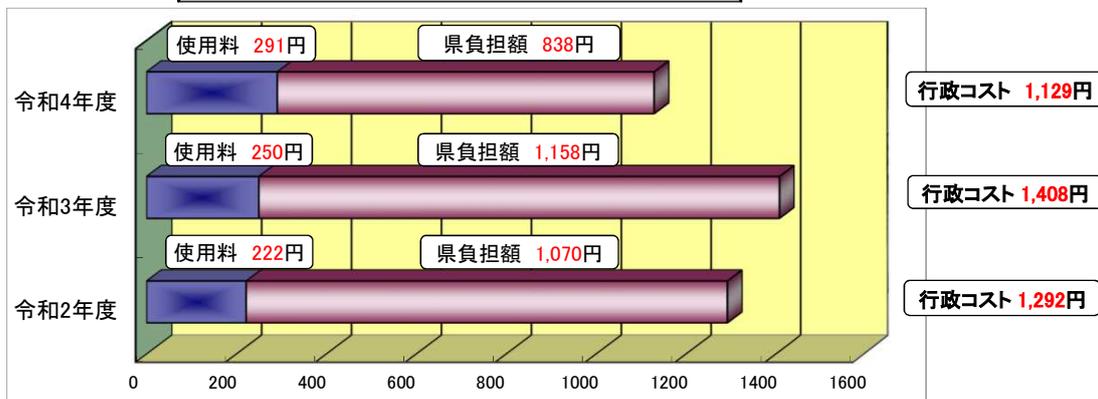
(利用者1人当たりのコスト)

R2	1,292円
R3	1,408円
R4	1,129円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	14,515	25.8%	11,043	3,472
国庫支出金				
その他				
計 ②	14,515	25.8%	11,043	3,472
県単独負担額 ①-②	41,781	74.2%	51,052	△ 9,271

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

指定管理者制度導入によりコスト縮減を図っている。  
また、施設利用の促進については、指定管理者が自主事業として「全国青年問題研究集会」等を開催し、施設の知名度向上や年間利用者数の増加を図っている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立保健医療大学		
所在地	高松市牟礼町原281-1	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	香川県立保健医療大学	施設設置根拠	香川県立保健医療大学条例
設置目的	保健医療に関する高度の専門的な知識及び技術を教授研究し、県民の保健医療の向上と福祉の増進に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	10,667,959千円	施設の概要	
県債	9,945,000千円	【施設】敷地面積	50,751 m <sup>2</sup>
一般財源	700,547千円	建物	管理研究棟 2,654 m <sup>2</sup> その他 349 m <sup>2</sup>
その他	22,412千円	講義棟	4,719 m <sup>2</sup>
		実習棟	5,005 m <sup>2</sup>
		厚生棟	1,982 m <sup>2</sup>
利用料金	大 学	教育研究棟	244 m <sup>2</sup>
授業料	535,800円	体育館	1,168 m <sup>2</sup>
入学料(県内)	197,400円	【職員の状況】	
入学料(県外)	366,600円	職員 63人、会計年度任用職員6人 計69人	
入学選考料	17,000円	(職員内訳 教員 51人、事務 12人)	

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	602,651	59.6%	620,519	△ 17,868
退職給与引当金繰入等				
小計	602,651	59.6%	620,519	△ 17,868
物にかかるコスト				
物件費	210,196	20.8%	194,283	15,913
維持補修費	9,601	0.9%	11,007	△ 1,406
減価償却費	187,246	18.5%	187,246	
その他				
小計	407,043	40.2%	392,536	14,507
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	2,260	0.2%	2,603	△ 343
その他				
小計	2,260	0.2%	2,603	△ 343
行政コスト合計 ①	1,011,954	100.0%	1,015,658	△ 3,704

●県債残高(R5.3.31現在)

2,192,723 千円

●利用の状況

(在学生数)

R2	398人
R3	397人
R4	399人

(定員に対する学生の割合)

R2	100.00%
R3	99.75%
R4	91.10%

●コスト指標

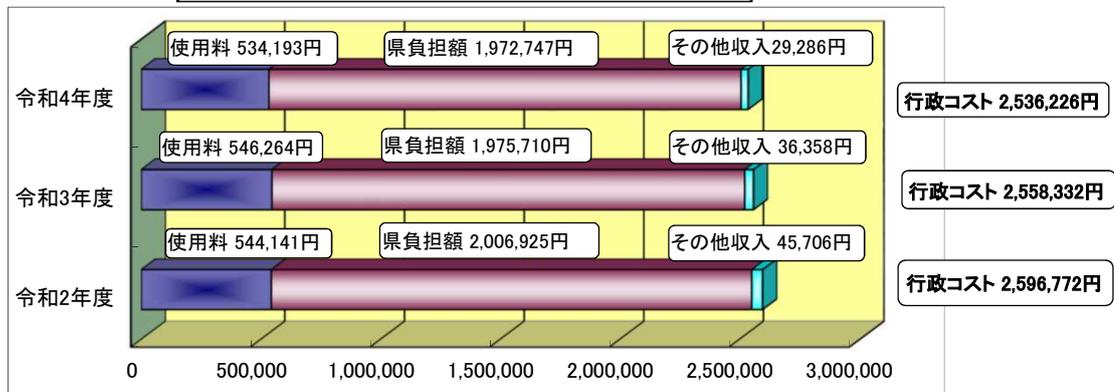
(学生1人当たりにかかるコスト)

R2	2,596,772円
R3	2,558,332円
R4	2,536,226円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	213,143	21.1%	216,867	△ 3,724
国庫支出金				
その他	11,685	1.1%	14,434	△ 2,749
計 ②	224,828	22.2%	231,301	△ 6,473
県単独負担額 ①-②	787,126	77.8%	784,357	2,769

学生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

オープンキャンパス、進路説明会への出席、大学見学受入、高校訪問、高校教員への大学紹介・入試説明会の開催などのPRや、奨学寄附金など外部資金の獲得に努めた。また、委託業務内容や入札方法の見直しなど、経費縮減に努めた。平成24年度に助産学専攻科を開設、平成29年度に大学院博士後期課程臨床検査学専攻、令和元年度に大学院博士後期課程看護学専攻を開設、令和3年度に大学院博士前期課程看護学専攻実践者養成コースを開設するなど、教育研究機能の強化・充実に取り組んでいる。また、地域社会に貢献する開かれた大学とするため、地域連携推進センターを設置している。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立高等技術学校		
所在地	高松市郷東町587-1	供用開始年度	昭和42年度
施設の種類	職業能力開発施設	施設設置根拠	職業能力開発促進法、香川県職業訓練の基準に関する条例、香川県立高等技術学校条例
設置目的	職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することにより、地域産業界の発展に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	
		鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨スレート など	
		高松校舎 延床面積 12,086.07㎡ 敷地面積 25,066.39㎡	
		丸亀校舎 延床面積 4,683.06㎡ 敷地面積 7,342㎡	
利用料金	授業料等	【職員の状況】	
在職者訓練	2,000円～12,000円	職員 43名 会計年度職員 11名 パート職員9名 計 63名	
求職者に対する職業訓練	無料	(再任用含む)	
	(ただし、教材費等要)		
普通課程の施設内職業訓練	年額118,800円他		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	337,301	55.8%	330,235	7,066
退職給与引当金繰入等	3,434	0.6%		3,434
小計	340,735	56.4%	330,235	10,500
物にかかるコスト				
物件費	197,854	32.8%	218,537	△ 20,683
維持補修費	29,203	4.8%	1,562	27,641
減価償却費	34,072	5.6%	34,072	
その他				
小計	261,129	43.2%	254,171	6,958
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	2,210	0.4%	2,318	△ 108
その他				
小計	2,210	0.4%	2,318	△ 108
行政コスト合計 ①	604,074	100.0%	586,724	17,350

### 【収入項目】

項目	金額	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	16,424	2.7%	16,336	88
国庫支出金	242,217	40.1%	277,113	△ 34,896
その他	2,533	0.4%	9,092	△ 6,559
計 ②	261,174	43.2%	302,541	△ 41,367
県単独負担額 ①-②	342,900	56.8%	284,183	58,717

### ●県債残高(R5.3.31現在)

284,259 千円

### ●利用の状況

(年間入校生数)+(在校生(進級者)数)

R2	754人
R3	728人
R4	681人

(在職者訓練・オーダーメイド訓練生数)

R2	113人
R3	198人
R4	231人

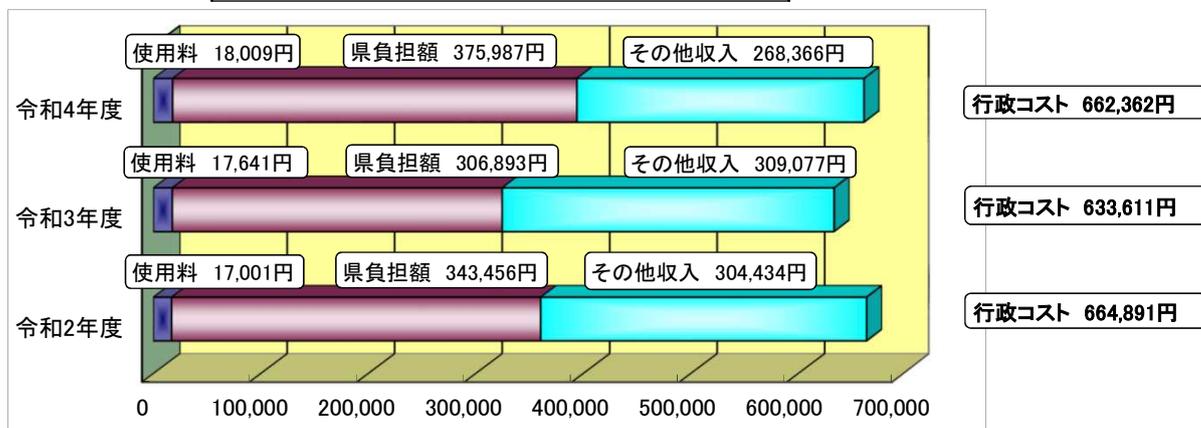
### ●コスト指標

(訓練生1人当たりのコスト)

R2	664,891円
R3	633,611円
R4	662,362円

※在職者訓練を含めたコスト

## 訓練生1人当たりのコスト負担の状況



### ●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成23年度から1校2キャンパス制の導入及び地域職業訓練センターを統合し、事務事業の一元化及び光熱水費等の適切な削減に努めている。令和4年度は、会計年度任用職員(パートタイム)の職員数が減少した反面、正規職員の職員数が増加したことにより、人件費が増加した。また、水銀灯のLED化や外壁の改修など、老朽化した施設の維持補修費も増加した。

在職者訓練を受講する訓練生の増加が顕著である一方で、求職者を対象とした職業訓練を受講する訓練生は年々減少していることから、訓練科の見直しや再編により、効果的・効率的な施設運営に取り組んでいく。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立農業大学校		
所在地	仲多度郡琴平町榎井34-3	供用開始年度	昭和52年度
施設の種別	教育研修	施設設置根拠	農業改良助長法、香川県立農業大学校条例
設置目的	次代の農業を担い、地域における農業の振興に指導的役割を果たす者を養成し、近代的な農業を推進する農業者等の研修を行う。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	
		総土地面積76,014㎡(実習農場51,915㎡ 機械練習場5,871㎡	
		建物敷地等18,228㎡)	
		建物 本館(事務室、職員室、会議室、図書室、教室等) 寮舎 体育館 食堂 学生会館	
利用料金	授業料	【職員の状況】	
授業料	118,800円	正規職員14人、再任用職員5人、会計年度任用(フルタイム)職員1人	
就農準備研修(4月～9月)	23,320円	会計年度任用(パートタイム)職員11人	計31人
就農準備研修(10月～3月)	23,320円		
就農実践研修	41,900円		
農業機械利用技能者養成研修Ⅰ、Ⅱ	2,090円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】	令和 4 年度	(千円)			
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	187,276	78.9%	177,337	9,939
	退職給与引当金繰入等			18,894	△ 18,894
	小計	187,276	78.9%	196,231	△ 8,955
物にかかるコスト	物件費	31,973	13.5%	28,346	3,627
	維持補修費	2,720	1.1%	17,856	△ 15,136
	減価償却費	15,250	6.4%	15,433	△ 183
	その他				
小計	49,943	21.0%	61,635	△ 11,692	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	188	0.1%	148	40
	その他				
	小計	188	0.1%	148	40
行政コスト合計 ①	237,407	100.0%	258,014	△ 20,607	

●県債残高(R5.3.31現在)

82,783 千円

●利用の状況

(在学生数)

R2	98人
R3	100人
R4	111人

(定員に対する学生の割合)

R2	70.5%
R3	71.9%
R4	74.0%

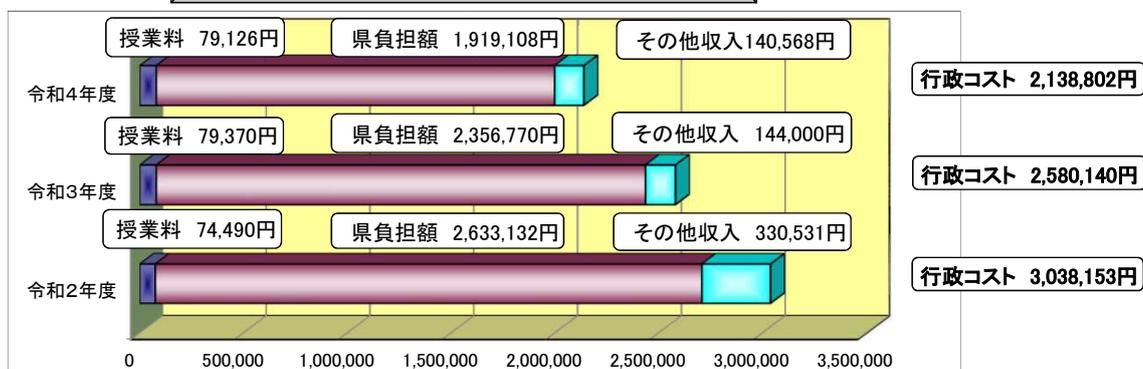
●コスト指標

(学生1人当たりにかかるコスト)

R2	3,038,153円
R3	2,580,140円
R4	2,138,802円

【収入項目】				
使用料・手数料	9,016	3.8%	8,226	790
国庫支出金	3,068	1.3%	2,876	192
その他	12,302	5.2%	11,235	1,067
計 ②	24,386	10.3%	22,337	2,049
県単独負担額 ①-②	213,021	89.7%	235,677	△ 22,656

## 学生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

農業情勢の変化や学生・研修生の実態やニーズを踏まえ、教育・研修の向上に努めた。担い手養成科では、先進的農業者の講話や現地研修を実施するほか、農業法人からの求人に対応するため、「農業法人等合同会社説明会」を実施するなど、毎年カリキュラムの見直しを行っている。技術研修科では、就農準備研修を年間2回に再編し、栽培品目の管理作業時期との連動を図りより効果的な研修とするほか、社会人を対象に休日や夜間に実施する「農業基礎講座」の講義を高松市内で開催した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立五色台少年自然センター		
所在地	高松市生島町423	供用開始年度	昭和46年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立五色台少年自然センター条例
設置目的	自然の環境の中で行う集団宿泊学習、野外活動等を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	一部委託:委託内容(施設及び設備の維持管理業務、給食管理等業務、利用者の送迎業務)		
整備事業費	1,105,776千円	施設の概要	
国庫支出金	35,000千円	【施設】 本館、宿泊棟、研修棟、天体観測棟、野外活動棟等 敷地面積 256,800.27㎡ 延床面積 8,553.64㎡	
一般財源	1,070,776千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	令和5年3月31日現在
一般	930円	正規職員12名 会計年度任用職員2名 計14名	
小学生以下(学校行事等)	340(250)円	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団五色台事業所職員	
中学生(学校行事等)	440(360)円	嘱託職員3名 計3名	
高校生(学校行事等)	520(440)円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	100,185	48.7%	102,705	△ 2,520
	退職給与引当金繰入等			22,263	△ 22,263
	小計	100,185	48.7%	124,968	△ 24,783
物にかかるコスト	物件費	29,215	14.2%	23,489	5,726
	維持補修費	1,761	0.9%	2,672	△ 911
	減価償却費	72,113	35.1%	72,113	
	その他				
小計	103,089	50.2%	98,274	4,815	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	2,322	1.1%	2,362	△ 40
	その他				
	小計	2,322	1.1%	2,362	△ 40
行政コスト合計 ①	205,596	100.0%	225,604	△ 20,008	

●県債残高(R5.3.31現在)

953,039 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	7,169人
R3	8,694人
R4	13,496人

(年間利用団体数)

R2	73団体
R3	106団体
R4	107団体

●コスト指標

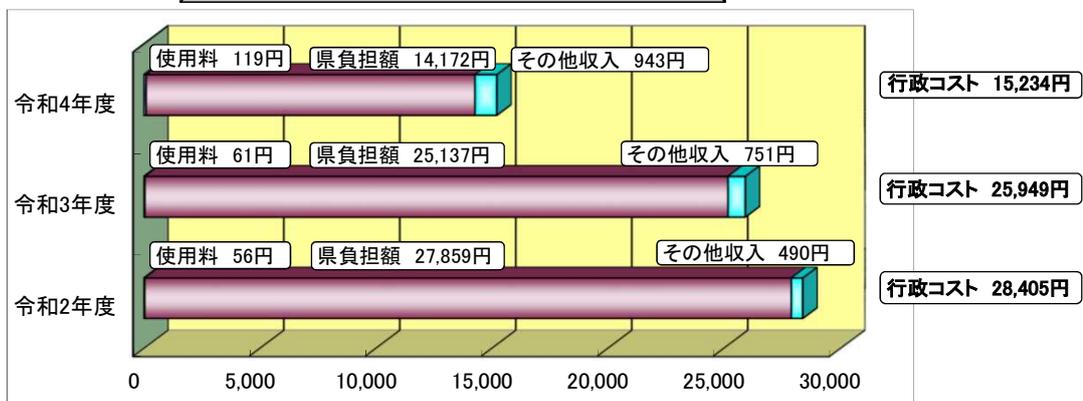
(利用者1人当たりのコスト)

R2	28,405円
R3	25,949円
R4	15,234円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	1,600	0.8%	533	1,067
国庫支出金				
その他	12,732	6.2%	6,533	6,199
計 ②	14,332	7.0%	7,066	7,266
県単独負担額 ①-②	191,264	93.0%	218,538	△ 27,274

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

新型コロナウイルスワクチン接種が進みWithコロナの新たな段階となったことから集団宿泊学習が徐々に再開され年間利用者はコロナ前の半数程度までに回復し、行政コストが減少した。今後も引き続き感染症対策を講じながらさらなる宿泊利用の拡大とコスト削減に努める。また、新型コロナウイルス感染症収束後の集団宿泊学習の本格的な再開に備え、施設の点検整備を行うとともに、施設利用者が充実した野外活動、フィールドワークを体験できるように指導員の研修等を実施する。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立屋島少年自然の家		
所在地	高松市屋島東町34-1	供用開始年度	昭和50年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立屋島少年自然の家条例
設置目的	自然の環境の中で行う集団宿泊学習、野外活動等を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	一部委託:委託内容(給食等の提供業務)		
整備事業費	949,000千円	施設の概要	
国庫支出金	60,000千円	【施設】	
県債	144,000千円	管理棟、第1宿泊棟、第2宿泊棟、体育館等	
一般財源	739,000千円	敷地面積 84,531.65㎡	
その他	6,000千円	延床面積 6,768.73㎡	
利用料金	使用料	【職員の状況】	令和5年3月31日現在
一般	930円	正規職員 10名 計10名	
小学生以下(学校行事等)	340(250)円	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団屋島事業所職員	
中学生(学校行事等)	440(360)円	嘱託職員 1名 計1名	
高校生(学校行事等)	520(440)円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	75,905 49.8%	74,678	1,227
	退職給与引当金繰入等	808 0.6%		808
	小計	76,713 50.4%	74,678	2,035
物にかかるコスト	物件費	31,825 20.9%	20,200	11,625
	維持補修費	2,274 1.5%	851	1,423
	減価償却費	40,573 26.6%	40,573	
	その他			
小計	74,672 49.0%	61,624	13,048	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	893 0.6%	1,175	△ 282
	その他	40 0.0%		40
	小計	933 0.6%	1,175	△ 242
行政コスト合計 ①	152,318 100.0%	137,477	14,841	

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	1,827	1.2%	228	1,599
国庫支出金				
その他	14,726	9.7%	4,353	10,373
計 ②	16,553	10.9%	4,581	11,972
県単独負担額 ①-②	135,765	89.1%	132,896	2,869

●県債残高(R5.3.31現在)

209,372 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	5,726人
R3	6,566人
R4	12,889人

(年間利用団体数)

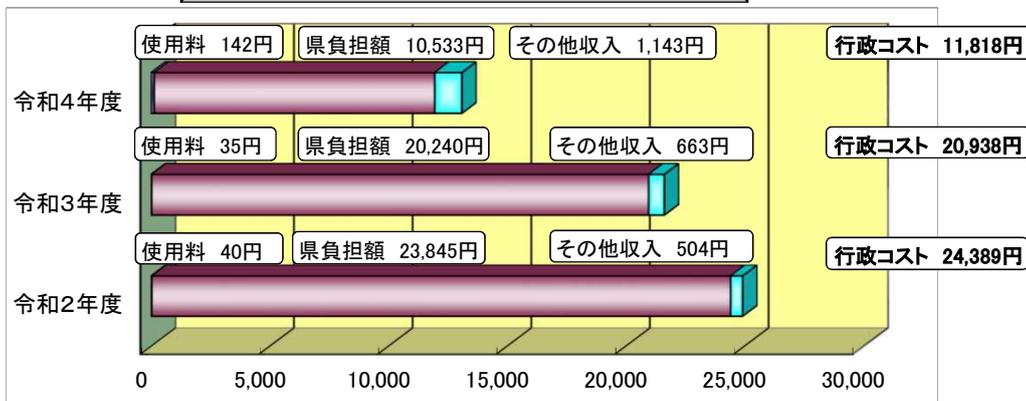
R2	88団体
R3	78団体
R4	121団体

●コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

R2	24,389円
R3	20,938円
R4	11,818円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

新型コロナウイルスワクチン接種が進みWithコロナの新たな段階となったことから集団宿泊学習が徐々に再開され年間利用者はコロナ前の4割程度までに回復し、行政コストが減少した。今後も引き続き感染症対策を講じながらさらなる宿泊利用の拡大とコスト削減に努める。また、新型コロナウイルス感染症収束後の集団宿泊学習の本格的な再開に備え、施設の点検整備を行うとともに、施設利用者が充実した野外活動、クラフト活動を体験できるように指導員の研修等を実施する。

公共施設のコスト計算書

施設名		香川県社会福祉総合センター	
所在地	高松市番町一丁目10番35号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	健康福祉施設	施設設置根拠	香川県社会福祉総合センター条例
設置目的	社会福祉に関する活動の振興を図り、もって県民の福祉の増進に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）かがわ健康福祉機構）		
整備事業費	9,799,848千円	施設の概要	<b>【施設】</b> 鉄筋鉄骨コンクリート造 地上7階、地下3階、塔屋1階 敷地面積 2,443.78㎡、延床面積13,290.82㎡ 建設手法 香川県、（福）香川県社会福祉協議会、（財）香川県婦人教育協会、 （財）香川県自治協会、日本赤十字社及び四国電力㈱の合築方式
県債	9,322,000千円	<b>【職員の状況】</b> 常勤の役員数 理事長1名、専務理事1名 職員数 財団職員1名、嘱託職員7名、事務職員5名 計13名 注1) 整備事業費には、合築方式による県以外の各団体の負担額は含まない。 注2) 職員数は、（公財）かがわ健康福祉機構の職員のうち、香川県社会福祉総合センターの 管理運営業務に従事する職員数を計上。 注3) 貸室使用料、健康プレイルーム個人使用料、駐車場使用料には、減免の制度がある。	
一般財源	442,689千円		
その他	35,159千円		
利用料金	利用料		
貸室使用料（全日の場合）冷暖房使用料別途	2,260～60,470円		
健康プレイルーム個人使用料①、駐車場使用料（1台につき25分あたり）②	①200円 ②100円		
ボランティア・男女共同参画交流室、福祉ライブラリー、健康福祉情報システム（専用端末、インターネット等による健康福祉情報提供サービス）	無料		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	58,028	18.6%	59,372	△ 1,344
退職給与引当金繰入等				
小計	58,028	18.6%	59,372	△ 1,344
物にかかるコスト				
物件費	107,773	34.6%	103,435	4,338
維持補修費	7,066	2.3%	8,291	△ 1,225
減価償却費	132,360	42.4%	132,360	
その他	5,833	1.9%	6,002	△ 169
小計	253,032	81.2%	250,088	2,944
その他のコスト				
公債費（利子のみ）	661	0.2%	778	△ 117
その他				
小計	661	0.2%	778	△ 117
行政コスト合計 ①	311,721	100.0%	310,238	1,483

●県債残高（R5.3.31現在）

503,140 千円

●利用の状況

（年間利用者数）

R2	113,866人
R3	105,691人
R4	134,430人

（貸室の月平均利用件数）

R2	282.3 件／月
R3	283.3 件／月
R4	395.2 件／月

●コスト指標

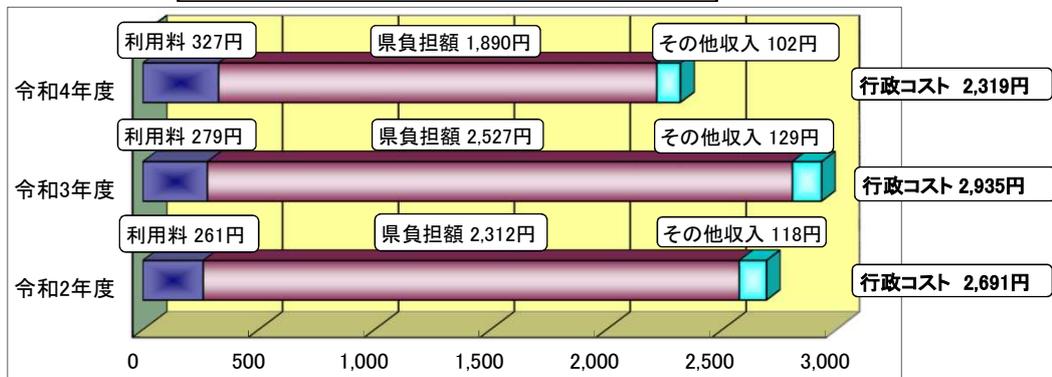
（利用者1人当たりにかかるコスト）

R2	2,691円
R3	2,935円
R4	2,319円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
利用料	44,042	14.1%	29,539	14,503
国庫支出金				
その他	13,728	4.4%	13,646	82
計 ②	57,770	18.5%	43,185	14,585
県単独自負担額 ①-②	253,951	81.5%	267,053	△ 13,102

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・利用者の満足度向上のため、新500円に対応した駐車場精算機に改修した。（令和4年7月）
- ・環境エコ対策と電力料の節減のため、空調機のベアリングの交換と修繕を実施した。（令和4年9月）
- ・利用者の満足度と利便性の向上のため、2階女子トイレの洋式化（令和4年12月）と1階多目的トイレを修繕（令和5年2月）するとともに、第一研修室のマイクチューナーやリハーサル室等のモニターテレビを修繕した。（令和5年3月）
- ・環境エコ対策と電力料の節減のため、特別会議室とA階段通路の誘導灯をLEDに交換した。（令和5年3月）
- ・年間を通じ、各階通路照明の消灯と事務所内の冷暖房のこまめな運転を行い環境エコ対策と電力料の節減を図った。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	さぬきこどもの国		
所在地	高松市香南町由佐3209	供用開始年度	平成7年度
施設の種類	大型児童館	施設設置根拠	児童福祉法、さぬきこどもの国条例
設置目的	児童に健全な遊びと創造的活動の場を提供するとともに、科学との触れ合いを通じて児童の科学に親しむ心を育み、次代の社会を担う児童の健全な育成と資質の向上を図ることを目的として建設された大型児童館である。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団）		
整備事業費(千円)	12,808,271千円	施設の概要	
県債	9,457,400千円	【施設】 大型児童館 鉄筋コンクリート3階建 延床面積 5,009.92㎡ 屋外施設 サイクルセンター、屋外遊具、芝生広場等	
一般財源	3,345,371千円		
寄付金	5,500千円		
		【事業団職員の状況】 指定管理者職員24人	
利用費目	利用料		
スペースシアター	500円から		
自転車使用料	200円から		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

●県債残高(R5.3.31現在)

520,340 千円

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	94,336	12.0%	96,294	△ 1,958
	退職給与引当金繰入金等	1,880	0.2%	1,950	△ 70
	小計	96,216	12.2%	98,244	△ 2,028
物にかかるコスト	物件費	258,648	32.8%	246,222	12,426
	維持補修費	31,530	4.0%	34,757	△ 3,227
	減価償却費	400,006	50.7%	393,985	6,021
	その他	841	0.1%	185	656
	小計	691,025	87.6%	675,149	15,876
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,452	0.2%	1,159	293
	その他				
	小計	1,452	0.2%	1,159	293
行政コスト合計 ①	788,693	100.0%	774,552	14,141	

●利用の状況

(年間入園者数)

R2	264,956人
R3	226,462人
R4	429,512人

(スペースシアター、貸自転車の利用率)

R2	30.9%
R3	29.6%
R4	30.3%

●コスト指標

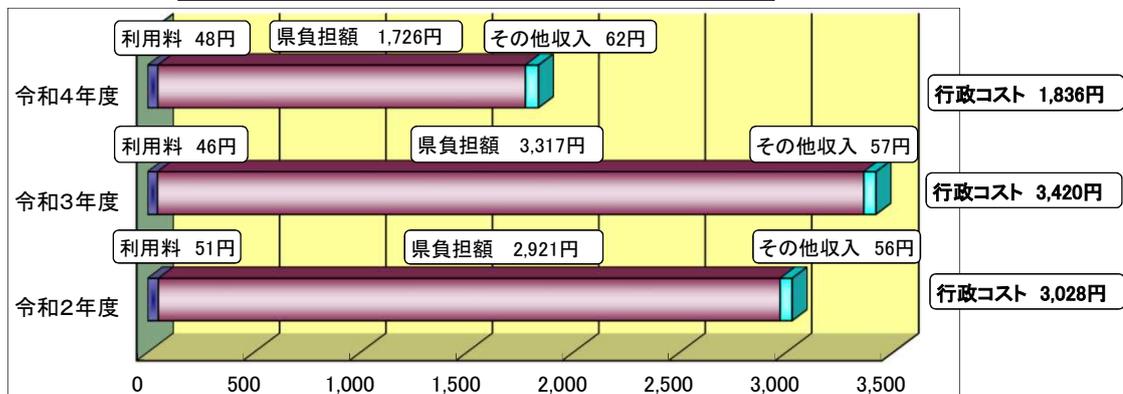
(入園者1人当たりにかかるコスト)

R2	3,028円
R3	3,420円
R4	1,836円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
利用料	20,686	2.6%	10,556	10,130
国庫支出金				
その他	26,498	3.4%	12,906	13,592
計 ②	47,184	6.0%	23,462	23,722
県単独自負担額 ①-②	741,509	94.0%	751,090	△ 9,581

## 入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者制度を導入し、人件費の削減などコスト削減に取り組んでいる。また、児童館のスペースシアターや屋内展示のリニューアルを行うなど、施設の魅力向上に努めている。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立斯道学園		
所在地	高松市西宝町2-6-9	供用開始年度	昭和22年度
施設の種類	児童自立支援施設	施設設置根拠	児童福祉法、香川県立斯道学園条例
設置目的	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うこと。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	本館 鉄筋コンクリート造3F 1,674.75㎡ 事務室、教室等 体育館 鉄筋コンクリート造1F 464.00㎡ 男子寮 鉄筋コンクリート造1F 646.62㎡ 女子寮 鉄筋コンクリート造1F 322.14㎡ 入所可能人数 30人
利用料金		【職員の状況】	
保護者の所得に応じ負担			正規職員24人 会計年度任用職員10人 嘱託医2人 計36人

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和4年度 (千円)

● 県債残高 (R5.3.31現在)

715,780 千円

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	186,019	71.6%	186,082	△ 63
	退職給与引当金繰入等				
	小計	186,019	71.6%	186,082	△ 63
物にかかるコスト	物件費	49,620	19.1%	46,190	3,430
	維持補修費	1,341	0.5%	592	749
	減価償却費	15,145	5.8%	15,145	
	その他				
	小計	66,106	25.4%	61,927	4,179
その他のコスト	公債費(利子のみ)	3,081	1.2%	3,206	△ 125
	その他	4,733	1.8%	5,064	△ 331
	小計	7,814	3.0%	8,270	△ 456
行政コスト合計 ①	259,939	100.0%	256,279	3,660	

● 利用の状況

(入所者1人当たりの平均措置費)

R2	5,408,917円
R3	7,372,667円
R4	7,845,200円

(入所者数)

R2	12人
R3	12人
R4	10人

● コスト指標

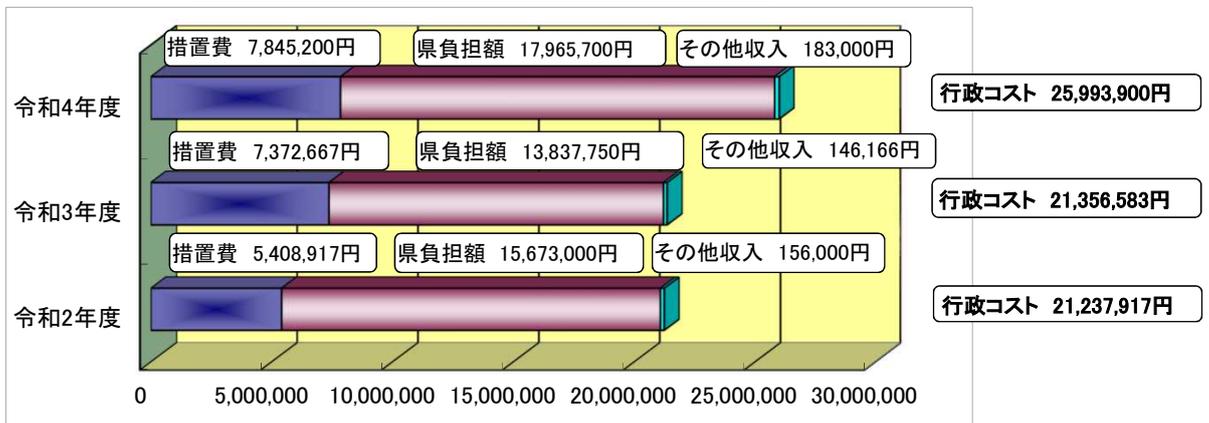
(入所者1人当たりにかかるコスト)

R2	21,237,917円
R3	21,356,583円
R4	25,993,900円

【収入項目】

措置費(本人・県負担分等)	40,159	15.4%	45,087	△ 4,928
措置費(国庫支出金)	38,293	14.8%	43,385	△ 5,092
その他	1,830	0.7%	1,754	76
計 ②	80,282	30.9%	90,226	△ 9,944
県単独自負担額 ①-②	179,657	69.1%	166,053	13,604

## 入所者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

光熱水費の節減等により、経費の縮減に努めている。

※ 入所者数は、月初日措置者数の平均  
入所者1人当たりのコストは1人が1年間入所した場合の経費

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立川部みどり園		
所在地	高松市川部町418	供用開始年度	昭和27年度（※1）
施設の種類	障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	施設設置根拠	知的障害者福祉法、児童福祉法、障害者総合支援法、香川県立川部みどり園条例
設置目的	障害を持つ児・者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	3,893,560千円	施設の概要	
国庫支出金	252,575千円	【施設】	障害者支援施設 鉄筋コンクリート1F 2,559.77㎡ 定員(入所60名、通所20名)
県債	2,964,000千円		定員(施設入所支援35名、生活介護42名、生活訓練12名 就労移行支援6名)
一般財源	676,985千円		児施設 鉄筋コンクリート1F 1,282.22㎡ 定員35名
利用料金		【職員の状況】	正規職員53人 会計年度任用職員39人 特別職非常勤(医師)2人 計94人
本人・保護者の所得に応じ負担			※1 知的障害児施設の設置年度

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	503,295 66.1%	510,444	△ 7,149
	退職給与引当金繰入等	9,007 1.2%		9,007
	小計	512,302 67.3%	510,444	1,858
物にかかるコスト	物件費	123,167 16.2%	117,221	5,946
	維持補修費	5,044 0.7%	9,474	△ 4,430
	減価償却費	113,591 14.9%	113,591	
	その他			
小計	241,802 31.8%	240,286	1,516	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	357 0.1%	367	△ 10
	その他	6,224 0.8%	6,563	△ 339
	小計	6,581 0.9%	6,930	△ 349
行政コスト合計 ①	760,685 100.0%	757,660	3,025	

●県債残高(R5.3.31現在)

89,520 千円

●利用の状況

(利用者1人当たりの自立支援給付費等)

R2	3,159,758円
R3	3,351,066円
R4	3,404,283円

(利用者数)

R2	66人
R3	61人
R4	60人

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	11,518,152円
R3	12,420,656円
R4	12,678,083円

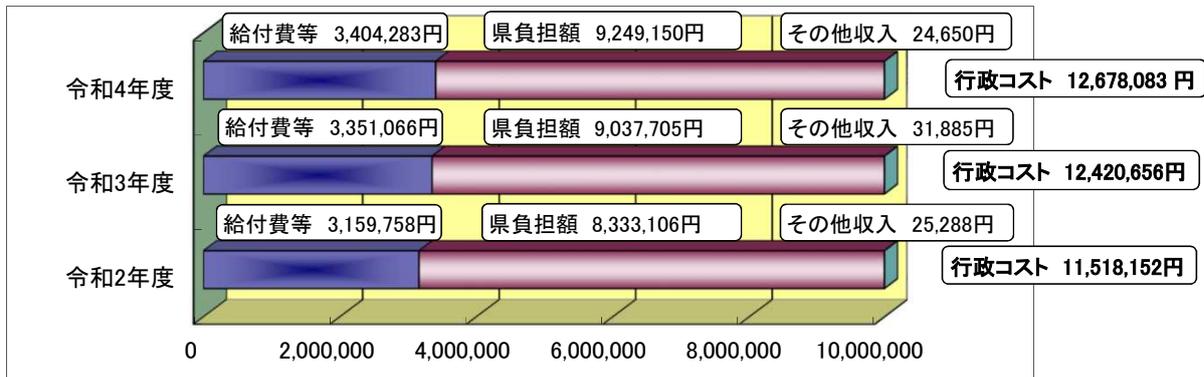
※利用者数は月初日利用者数の平均。

利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
自立支援給付費等	152,693	20.1%	152,794	△ 101
国庫支出金	51,564	6.8%	51,621	△ 57
その他	1,479	0.1%	1,945	△ 466
計 ②	205,736	27.0%	206,360	△ 624
県単独負担額 ①-②	554,949	73.0%	551,300	3,649

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

日用品等物品購入費や光熱水費の節減等により、経費の縮減に努めている。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県ふじみ園		
所在地	丸亀市飯山町東坂元3667	供用開始年度	昭和54年度
施設の種類	障害者支援施設、福祉ホーム	施設設置根拠	知的障害者福祉法、障害者総合支援法 香川県ふじみ園条例
設置目的	障害者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（福）香川県社会福祉事業団）		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	おおぞら（旧更生施設）鉄筋コンクリート 2F 1,948.85㎡ 定員 施設入所支援 60名 生活介護 74名 だいち（旧授産施設）鉄筋コンクリート 2F 2,093.04㎡ 定員 施設入所支援 50名、生活介護 36名、生活訓練 12名、 就労移行支援 12名、就労継続支援B型 30名
利用料金		【職員の状況】	
更生施設及び授産施設	本人の所得に応じて負担		福祉ホーム 鉄筋コンクリート 1F 613.26㎡ 定員20名
福祉ホーム	光熱水費を実費負担		プロパー職員51人 嘱託職員22人 臨時職員19人 計92人

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

●県債残高(R5.3.31現在) 93,334 千円

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	436,333	64.3%	426,661	9,672
	退職給与引当金繰入等	14,928	2.2%	13,247	1,681
	小計	451,261	66.5%	439,908	11,353
物にかかるコスト	物件費	63,381	9.4%	67,674	△ 4,293
	維持補修費	2,853	0.4%	3,584	△ 731
	減価償却費	43,984	6.5%	43,984	
	その他	9,679	1.4%	10,005	△ 326
小計	119,897	17.7%	125,247	△ 5,350	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	207	0.1%	175	32
	その他	107,189	15.7%	101,081	6,108
	小計	107,396	15.8%	101,256	6,140
行政コスト合計 ①	678,554	100.0%	666,411	12,143	

### ●利用の状況

(利用者1人当たりの自立支援給付費等)

R2	3,012,179円
R3	3,062,111円
R4	3,197,001円

### (利用者数)

R2	150人
R3	144人
R4	142人

### ●コスト指標

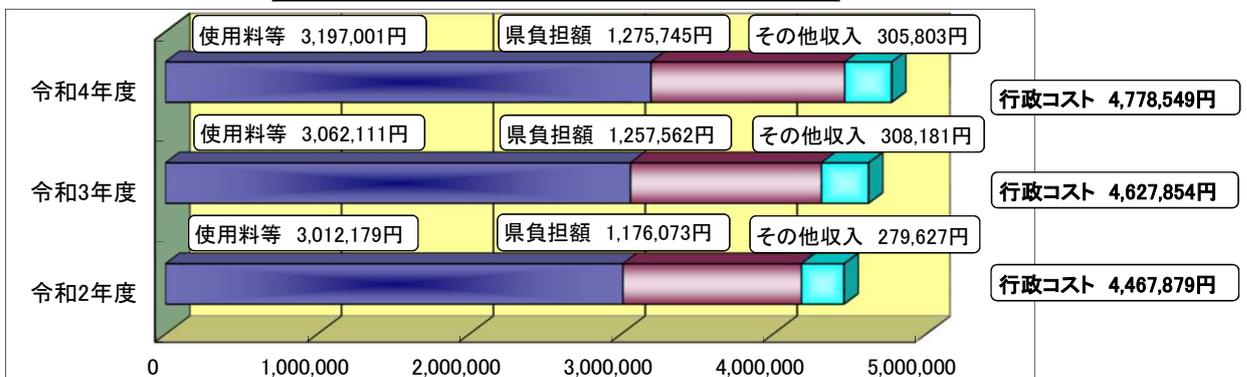
(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	4,467,879円
R3	4,627,854円
R4	4,778,549円

※利用者数は月初日入所者数の平均。

利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



### ●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

日用品等物品購入費や光熱水費の節減等により、経費の縮減に努めている。

※1 使用料等のうち自立支援給付費等使用料部分は平成18年度から利用料金制に移行している。

公共施設のコスト計算書

施設名	かがわ総合リハビリテーションセンター		
所在地	高松市田村町1114	供用開始年度	昭和61年度
施設の種類	障害者支援施設、身体障害者福祉センター、医療型障害児入所施設、病院	施設設置根拠	身体障害者福祉法、児童福祉法、医療法、障害者総合支援法 かがわ総合リハビリテーションセンター条例
設置目的	障害のある者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（福）かがわ総合リハビリテーション事業団）		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	病院 鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階 10,103.66㎡ 外来診療、入院114床 こども支援施設 鉄筋コンクリート造 地上2階 4,284.7㎡ 入所定員25名 こども発達支援センター 鉄筋コンクリート造（施設はこども支援施設の一部） 利用定員35名 療養介護施設 鉄筋コンクリート造（施設はこども支援施設の一部及び南病棟1階） 入所定員45名 成人支援施設 鉄筋コンクリート造 地上1階 自立支援(機能訓練、生活訓練)56名、就労移行支援24名 福祉センター 鉄筋コンクリート造 地上2階 3,984.09㎡ プール、体育館、研修室外
利用料金		【職員の状況】	プロパー職員 308人 嘱託職員 66人 臨時職員 30人 計404人
病院、こども支援施設、療養介護施設 一般的な病院での医療費(医療費助成制度あり)			
成人支援施設、こども支援施設、療養介護施設 所得に応じて負担			
福祉センター 施設使用料(障害者減免制度有)			

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

● 県債残高 (R5.3.31現在) 237,766 千円

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	2,231,473	68.0%	2,336,449	△ 104,976
	退職給与引当金繰入等			4,764	△ 4,764
	小計	2,231,473	68.0%	2,341,213	△ 109,740
物にかかるコスト	物件費	319,161	9.7%	304,542	14,619
	維持補修費	18,535	0.6%	61,572	△ 43,037
	減価償却費	255,603	7.8%	255,603	
	その他	119,197	3.6%	127,460	△ 8,263
	小計	712,496	21.7%	749,177	△ 36,681
その他のコスト	公債費(利子のみ)	713	0.1%	786	△ 73
	その他	336,128	10.2%	300,733	35,395
	小計	336,841	10.3%	301,519	35,322
行政コスト合計 ①	3,280,810	100.0%	3,391,909	△ 111,099	

● 利用の状況

(利用者数)※1

R2	450.5 人
R3	454.9 人
R4	423.8 人

(入所率)※2

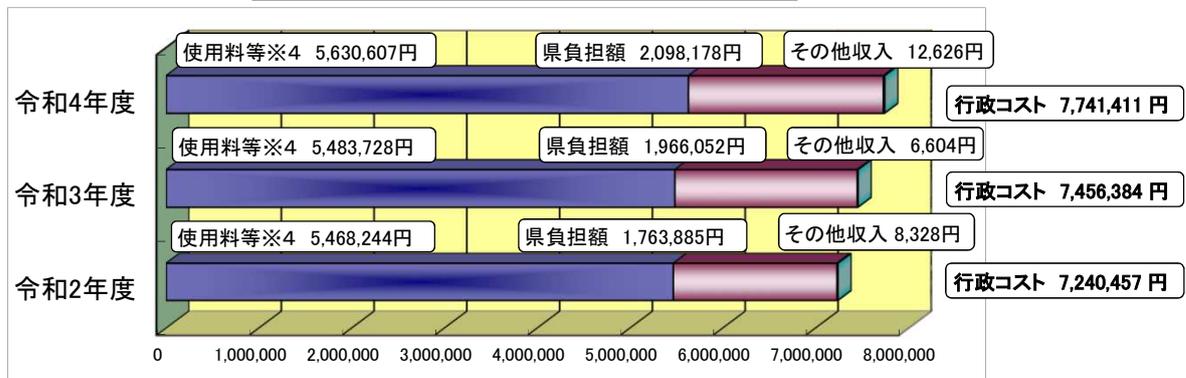
R2	65.5%
R3	60.7%
R4	46.2%

● コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)※3

R2	7,240,457円
R3	7,456,384円
R4	7,741,411円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

物品購入、工事契約の入札化、光熱水費の節減等により、経費の縮減に努めている。

※1 利用者数は、入所施設(通所を含む。)の月初日措置者数の平均と病院の入院・外来の1日平均患者数の合計。福祉センターの利用者等は算入していない。

※2 入所率は、入所施設(通所を含む。)の月初日措置者数の平均と病院の入院の1日平均患者数の合計を定員で除した率。

※3 利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

※4 使用料等は、自立支援給付費、措置費及び診療報酬等であり、使用料部分は平成18年度から利用料金制に移行している。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	さぬき動物愛護センター		
所在地	香川県高松市東植田町1202番地1	供用開始年度	平成30年度
施設の種類	動物愛護管理センター	施設設置根拠	さぬき動物愛護センター規則
設置目的	動物の愛護及び適正な飼養についての県民の関心及び理解を深めるとともに、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に寄与することを目的とする。		
施設運営方法	直接運営(整備費及び運営費等高松市2分の1負担)		
整備事業費	634,305千円	施設の概要	
高松市負担金	310,598千円	【施設】	
県債	231,000千円	センター本棟、ドッグラン、ふれあい広場等	
国費	12,481千円	総敷地面積 2,743.18㎡ 建物延面積941.82㎡	
一財	80,226千円	【職員の状況】	
利用料金		職員21名(所長1名、次長2名、職員7名、会計年度任用職員11名)	

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和4年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	122,432	66.5%	120,907	1,525
	退職給与引当金繰入等			2,847	△ 2,847
	小計	122,432	66.5%	123,754	△ 1,322
物にかかるコスト	物件費	39,539	21.5%	38,117	1,422
	維持補修費				
	減価償却費	21,341	11.6%	21,341	
	その他				
小計	60,880	33.1%	59,458	1,422	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	803	0.4%	803	
	その他				
	小計	803	0.4%	803	
行政コスト合計 ①	184,115	100.0%	184,015	100	

### 【収入項目】

雑入(高松市負担分)	37,543	20.4%	36,947	596
雑入(その他)	39	0.0%	32	7
財産収入	253	0.2%	253	
その他	56,406	30.6%	52,797	3,609
計 ②	94,241	51.2%	90,029	4,212
県単独負担額 ①-②	89,874	48.8%	93,986	△ 4,112

● 県債残高 (R5.3.31現在)

22,448 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

R2	9,292人
R3	6,476人
R4	7,794人

(年間譲渡動物数)

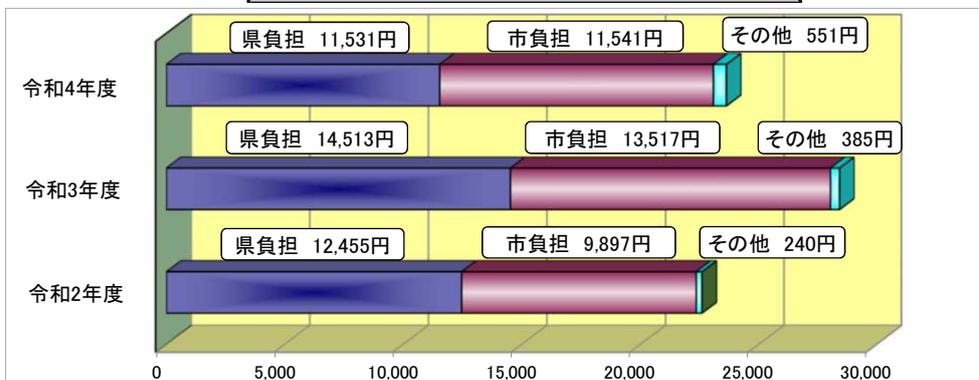
R2	1,668頭
R3	1,443頭
R4	1,187頭

● コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

R2	22,592円
R3	28,415円
R4	23,623円

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



### ● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

動物愛護啓発に係るイベントについては、委託するものと委託せずに行うものを整理し、さらに委託するものにおいてもセンターの物品等で代用できるものなどを自前で準備するなどの工夫を行い、コスト縮減に努めた。また、図書館等の公共施設を中心としたパネル展、集客力のある商業施設での出張イベント、HP・SNS・機関紙での情報発信を通じて、動物愛護啓発や認知度向上を図った。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	情報通信交流館		
所在地	高松市サンポート2番1号	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	生涯学習施設、研修施設、展示施設	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	県民の情報リテラシーの向上、デジタル社会・かがわを担う人材の育成により本県の情報化を推進するとともに、サンポート高松の賑わいを創出する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(かがわ県民情報サービス(株)) 本施設は、BOT方式(※)によるPFIに基づく特定事業として平成16年度から平成25年度までの10年間にわたり整備・運営後、公募により選定した指定管理者により運営を継続している。 (※)BOT方式・・・民間事業者が施設を建設・所有し、事業期間にわたり維持管理・運営をし、事業終了後、公共に施設の所有権を移転する方式		
整備事業費	1,110,640千円	施設の概要	
整備費は事業者負担。PFI事業終了後、県に所有権が移転している。		【施設】	高松シンボルタワー タワー棟4階及び5階部分 専有面積 3298.81㎡
利用費目	利用料	【職員の状況】	
貸室(1時間～全日) (大・中・小研修室、多目的ホール)	520～57,530円	常勤職員 17名 非常勤職員 4名	
Setouchi-i-Base会費	2,000～20,000円/月	勤務時間 8時間×22日=176時間(1月あたり)	
Setouchi-i-Base一時利用料	300円/時 (1日最大1,200円)		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	68,179	25.8%	63,016	5,163
	退職給与引当金繰入等				
	小計	68,179	25.8%	63,016	5,163
物にかかるコスト	物件費	188,230	71.2%	183,106	5,124
	維持補修費	3,312	1.3%	7,971	△ 4,659
	減価償却費	4,567	1.7%	4,039	528
	その他				
小計	196,109	74.2%	195,116	993	
その他のコスト	公債費(利子のみ)				
	その他				
	小計				
行政コスト合計 ①	264,288	100.0%	258,132	6,156	

### ●利用の状況

(年間利用者数)

R2	61,880人
R3	76,635人
R4	90,211人

(貸室の利用率)

R2	30.7%
R3	24.2%
R4	33.4%

### ●コスト指標

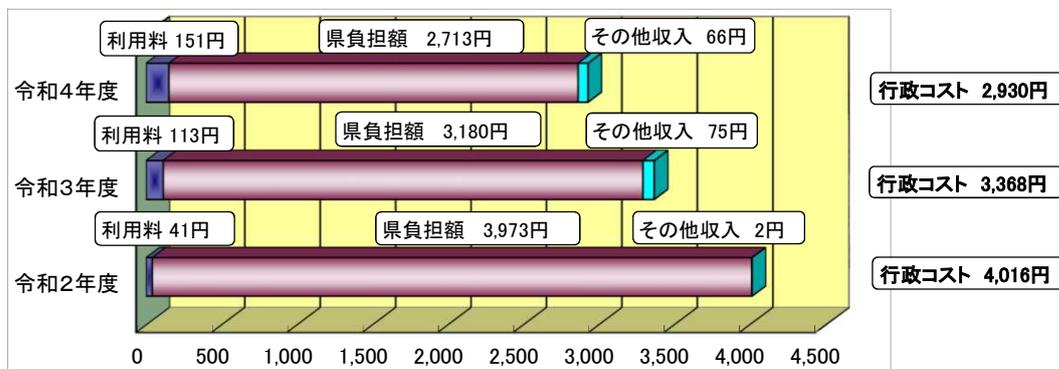
(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	4,016円
R3	3,368円
R4	2,930円

### 【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	13,644	5.2%	8,691	4,953
国庫支出金	5,843	2.2%	5,547	296
その他	104	0.0%	185	△ 81
計 ②	19,591	7.4%	14,423	5,168
県単独負担額 ①-②	244,697	92.6%	243,709	988

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



### ●コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

開設当初より指定管理者制度を導入し、適切な施設管理と利用者ニーズを捉えたプログラムを展開している。令和2年11月には施設の一部を改装して情報通信関連産業を中心としたオープンイノベーション施設「Setouchi-i-Base」を開設し、また、令和4年度にはデジタルを活用した地域課題解決に向けた官民共創拠点「かがわDX Lab」を整備するなど、時代の潮流を反映した機能を追加し、新たな需要への対応を図るとともに、様々なイベント等の開催により認知度の向上や利用促進に努めている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立文書館		
所在地	高松市林町2217番地19	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	文書館	施設設置根拠	公文書館法、香川県立文書館条例
設置目的	香川県公文書等の管理に関する条例第2条第4項に規定する特定歴史公文書等をはじめとする、歴史資料として重要な公文書、古文書その他の記録を収集・整理・保存し、広く県民の利用に供するとともに、これに関連する調査研究を行い、本県における学術の振興及び文化の向上並びに県政に対する理解の増進及び信頼の向上に資する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	2,908,304千円	施設の概要	
県債	2,536,000千円	【施設】	鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階・地上3階
一般財源	372,304千円		閲覧室 340㎡
			視聴覚ホール 299㎡ 収容人員 225人
			会議室 62㎡ 収容人員 20人
			書庫 1,833㎡
利用料金	観覧料	【職員の状況】	職員10名 会計年度任用職員6名 計16名
文書館入場料	無料		
視聴覚ホール 貸館	時間当たり 3,660円		
会議室 貸館	時間当たり 1,150円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	85,681	47.6%	85,157	524
人件費	85,681	47.6%	85,157	524
退職給与引当金繰入等			18,885	△ 18,885
小計	85,681	47.6%	104,042	△ 18,361
物にかかるコスト	94,079	52.3%	89,173	4,906
物件費	38,225	21.2%	33,115	5,110
維持補修費	870	0.5%	1,699	△ 829
減価償却費	54,984	30.6%	54,359	625
その他				
小計	94,079	52.3%	89,173	4,906
その他のコスト	123	0.1%	92	31
公債費(利子のみ)	123	0.1%	92	31
その他				
小計	123	0.1%	92	31
行政コスト合計 ①	179,883	100.0%	193,307	△ 13,424

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	3,301	1.8%	3,474	△ 173
国庫支出金				
その他	1,393	0.8%	404	989
計 ②	4,694	2.6%	3,878	816
県単独負担額 ①-②	175,189	97.4%	189,429	△ 14,240

●県債残高(R5.3.31現在)

50,220 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

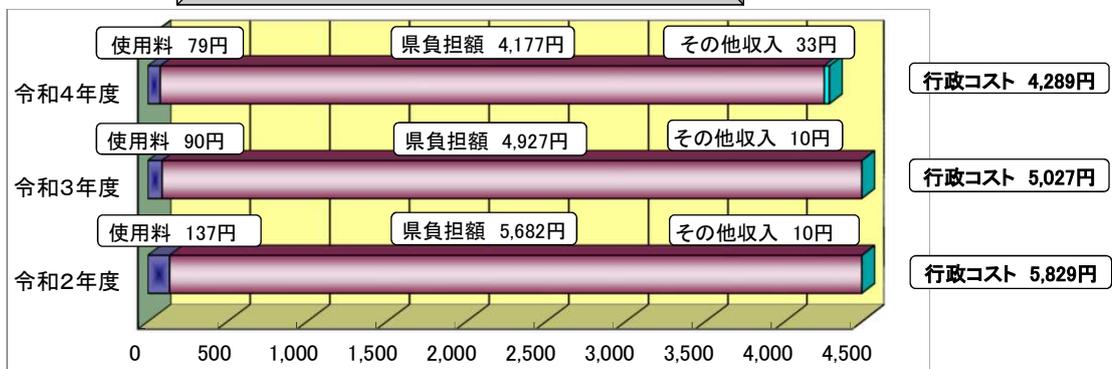
R2	30,090人
R3	38,451人
R4	41,938人

●コスト指標

(入館者1人当たりのコスト)

R2	5,829円
R3	5,027円
R4	4,289円

入館者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

新型コロナウイルス感染症対策として、貸館施設(視聴覚ホール、会議室)の利用人数の制限をしており、同感染症の影響下ではあるが、利用者数はやや回復してきたため、入館者一人当たりのコスト負担はやや減少した。今後とも、管理運営費の節減に努めながら、県民の身近な題材をテーマとした企画展示の開催や、ホームページの充実、マスメディアの活用など、幅広く広報を行い、利用者数の増加を図ることとしている。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川国際交流会館		
所在地	高松市番町一丁目11-63	供用開始年度	平成7年度
施設の種類	国際交流施設	施設設置根拠	香川国際交流会館条例
設置目的	本県における国際交流の促進及び文化の向上を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(公益財団法人香川県国際交流協会)		
整備事業費	864,645千円	施設の概要	
県債	696,000千円	【施設】	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 建築面積 787.50㎡ 延床面積 2,474.17㎡
一般財源	168,645千円	【職員の状況】	嘱託職員 5名
			※ 施設は旧県立図書館 整備事業費は、平成5・6年度の整備費
利用料金	使用料		
大会議室	5,460 ~ 18,210円		
会議室	1,350 ~ 4,530円		
小会議室	620 ~ 2,070円		
和室	620 ~ 2,070円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	14,691	31.4%	17,053	△ 2,362
退職給与引当金繰入等				
小計	14,691	31.4%	17,053	△ 2,362
物にかかるコスト				
物件費	14,418	30.8%	13,713	705
維持補修費	9,094	19.5%	9,779	△ 685
減価償却費	8,486	18.2%	8,647	△ 161
その他				
小計	31,998	68.5%	32,139	△ 141
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	52	0.1%	103	△ 51
その他				
小計	52	0.1%	103	△ 51
行政コスト合計 ①	46,741	100.0%	49,295	△ 2,554

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	6,769	14.5%	5,780	989
国庫支出金				
その他				
計 ②	6,769	14.5%	5,780	989
県単独負担額 ①-②	39,972	85.5%	43,515	△ 3,543

● 県債残高 (R5.3.31現在)

8,106 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

R2	66,086人
R3	53,346人
R4	65,024人

(会議室利用率)

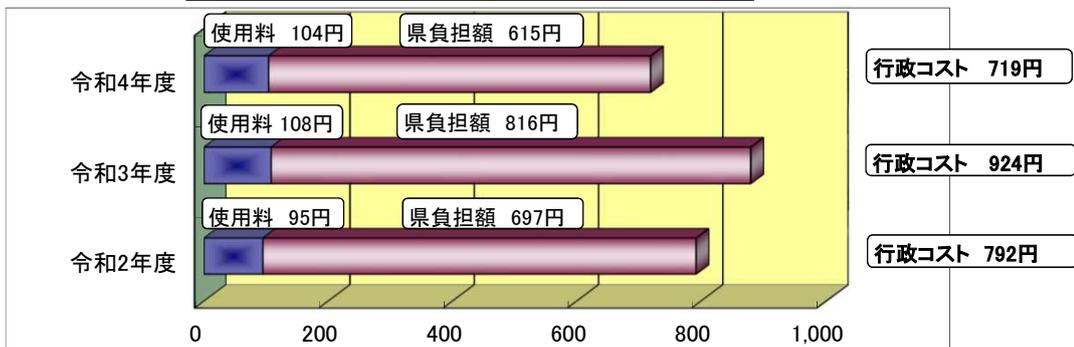
R2	45.5%
R3	34.1%
R4	50.9%

● コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

R2	792円
R3	924円
R4	719円

### 利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・競争性の確保や契約内容の見直し等により、経費節減に努めている。
- ・ホームページに会議室の空き情報や、写真、配置図等を掲示するなど、利用者の利便性向上に努めている。
- ・国際交流団体等に対して広く利用を呼びかけるなど、会館の利用促進を図っている。

公共施設のコスト計算書

施設名	サンポート高松交流拠点施設		
所在地	香川県高松市サンポート2-1	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	国際会議場、展示場、観光情報センター、駐車場など	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松において、人、物、情報等の総合的な交流拠点を創造することにより、本県のにぎわいを創出するため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（シンボルタワー開発株式会社）		
整備事業費	12,074,010千円	施設の概要	
国費	203,400千円	【施設】 かがわ国際会議場、観光情報センター、展示場、多目的広場、 高松シンボルタワー地下駐車場、高松シンボルタワー内共用部など	【職員の状況】 シンボルタワー開発株式会社（指定管理者）の職員10人でサンポート高松の施設を 管理運営 このうち6.2人分をサンポート高松交流拠点施設関係で負担
分担金・負担金	205,400千円		
県債	10,864,000千円		
その他	801,210千円		
施設名	利用料金		
国際会議場9:00～17:00	77,700円		
展示場9:00～17:00	69,100円		
多目的広場9:00～17:00	42,600円		
高松シンボルタワー地下駐車場 20分	100円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	30,812	5.8%	31,458	△ 646
	退職給与引当金繰入等				
	小計	30,812	5.8%	31,458	△ 646
物にかかるコスト	物件費	74,016	13.8%	70,594	3,422
	維持補修費	106,161	19.9%	116,055	△ 9,894
	減価償却費	183,044	34.3%	183,044	
	その他	103,702	19.4%	105,656	△ 1,954
	小計	466,923	87.4%	475,349	△ 8,426
その他のコスト	公債費(利子のみ)	7,515	1.4%	8,517	△ 1,002
	その他	29,012	5.4%	26,131	2,881
	小計	36,527	6.8%	34,648	1,879
行政コスト合計 ①	534,262	100.0%	541,455	△ 7,193	

●県債残高(R5.3.31現在)

1,166,443 千円

◇「コスト」には国際会議場、展示場、観光情報センター、産業情報センター、多目的広場、シンボルタワー地下駐車場の

- ・人件費
- ・光熱水費
- ・清掃業務、設備日常管理、設備定期点検、保安警備業務
- ・減価償却費
- ・高松シンボルタワー内共用部県負担金
- ・公債費（利子のみ）

などが含まれます。

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	75,990	14.2%	66,187	9,803
国庫支出金				
その他	34,889	6.6%	34,931	△ 42
計 ②	110,879	20.8%	101,118	9,761
県単独負担額 ①-②	423,383	79.2%	440,337	△ 16,954

施設ごとの内訳

	国際会議場	展示場	観光情報センター	産業振興センター	多目的広場	シンボルタワー地下駐車場
--	-------	-----	----------	----------	-------	--------------

【収入項目(千円)】

項目	国際会議場	展示場	観光情報センター	産業振興センター	多目的広場	シンボルタワー地下駐車場
使用料・手数料	16,189	13,515		24,519	1,704	20,063
国庫支出金						
その他						
計	16,189	13,515		24,519	1,704	20,063

【利用の状況】

指標	稼働率	稼働率	利用者数	入居率	稼働率	利用台数
	47.3%	47.6%	27,719	100.0%	16.9%	25,624

●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

平成18年度から指定管理者を公募することにより、管理費のコスト縮減を図っている。  
また、国際会議場・展示場において早期予約割引サービスを実施するなど、利用率の向上にも努めている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立図書館		
所在地	高松市林町2217-19	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立図書館条例
設置目的	本県における中核図書館として、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存して、広く県民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	5,795,507千円	施設の概要	
県債	4,767,000千円	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階地上4階	
一般財源	1,028,507千円	1階 閲覧室 2階 会議室、研修室、視聴覚ホール(全て文書館と共用)	
		3階 書庫 4階 書庫	
		敷地面積 19,396.18㎡(文書館と共用)	
		延床面積 9,562.31㎡	
利用料金		【職員の状況】 令和5年3月31日現在	
資料複写料金(白黒1枚)	10円	正規職員18名	
資料複写料金(カラー1枚)	20円	会計年度任用職員4名	
マイクロリーダー(1枚)	10円	計22名	

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	133,329	36.6%	130,910	2,419
	退職給与引当金繰入等			25,535	△ 25,535
	小計	133,329	36.6%	156,445	△ 23,116
物にかかるコスト	物件費	165,083	45.3%	156,198	8,885
	維持補修費	1,867	0.5%	4,164	△ 2,297
	減価償却費	64,007	17.5%	64,291	△ 284
	その他				
	小計	230,957	63.3%	224,653	6,304
その他のコスト	公債費(利子のみ)	279	0.1%	210	69
	その他				
	小計	279	0.1%	210	69
行政コスト合計 ①	364,565	100.0%	381,308	△ 16,743	

【収入項目】

項目	金額	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	53	0.0%	53	
国庫支出金				
その他	2,029	0.6%	1,865	164
計 ②	2,082	0.6%	1,918	164
県単独負担額 ①-②	362,483	99.4%	379,390	△ 16,907

●県債残高(R5.3.31現在)

101,500 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

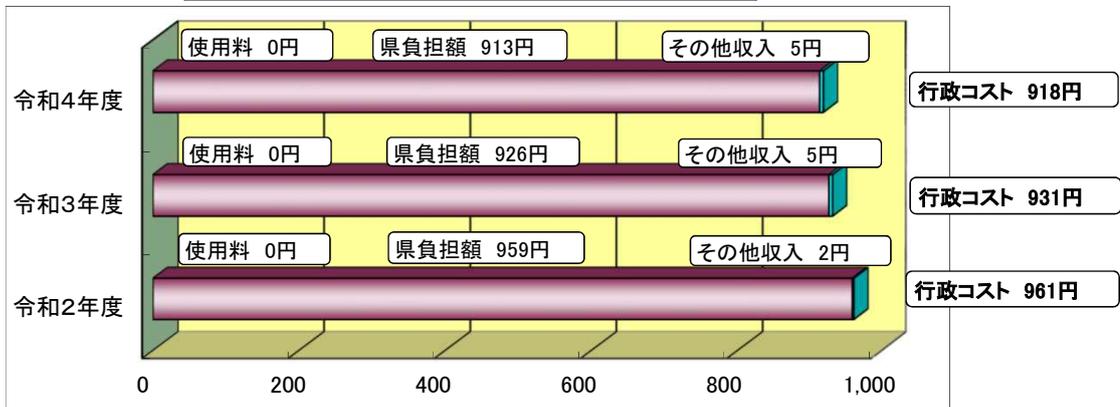
R2	373,213 人
R3	409,783 人
R4	396,949 人

●コスト指標

(入館者1人当たりのコスト)

R2	961 円
R3	931 円
R4	918 円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

コスト縮減への取組みとして、引き続きカウンター業務等を委託した。利用向上に向けた取組みとしては、各種行事や展示を行うほかインターネット等を活用した蔵書の予約や県内公立図書館の蔵書検索が可能な図書館情報システムの利用の浸透を図るなど、利用者サービスの向上に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立ミュージアム		
所在地	高松市（玉藻町5-5、亀水町1412-2、番町1-10-39）	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	美術館・博物館	調査研究施設	施設設置根拠
設置目的	歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	24,397,271千円	施設の概要	
国庫支出金	15,000千円	【施設】（本館）【ミュ】 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階、地下2階、塔屋1階 延床面積 19,656.99㎡ 敷地面積 5,016.77㎡ （分館）瀬戸内海歴史民俗資料館【歴民】 鉄筋コンクリート造 一部2階建 延床面積 4,441.11㎡ 敷地面積 45,094.00㎡ （分館）香川県文化会館【文化】 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 延床面積 4,628.02㎡ 敷地面積 1,153.98㎡	
県債	17,300,620千円		
一般財源	5,904,291千円		
その他	1,177,360千円		
利用料金	観覧料	【職員の状況】 正規職員 29人（【ミュ】21人【歴民】6人【文化】2人）※再任用を含む 会計年度任用職員 4人（【ミュ】3人【歴民】1人） 計 33人（【ミュ】24人【歴民】7人【文化】2人）	
一般	410円		瀬戸内海歴史民俗資料館はコスト計算の対象外である。
団体	330円		
講堂	23,940円/日		
研修室	9,660円/日		

行政コスト計算書					
【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	172,491	24.5%	181,880	△ 9,389
	退職給与引当金繰入等			10,567	△ 10,567
	小計	172,491	24.5%	192,447	△ 19,956
物にかかるコスト	物件費	227,096	32.2%	194,973	32,123
	維持補修費	33,919	4.8%	4,427	29,492
	減価償却費	263,333	37.4%	263,333	
	その他				
	小計	524,348	74.4%	462,733	61,615
その他のコスト	公債費(利子のみ)	7,651	1.1%	8,745	△ 1,094
	その他				
	小計	7,651	1.1%	8,745	△ 1,094
行政コスト合計 ①	704,490	100.0%	663,925	40,565	

●県債残高(R5.3.31現在)  
3,483,676 千円

●利用の状況(文化会館を含めた利用者数)

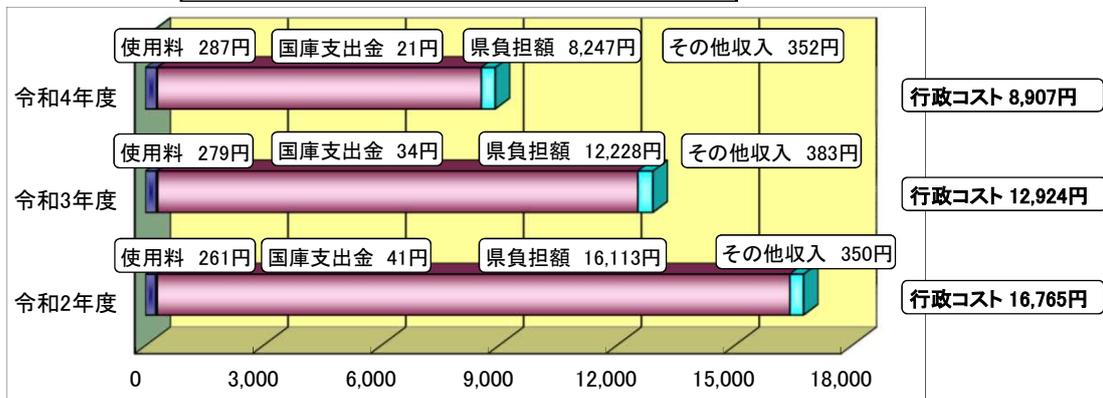
R2	40,350人
R3	51,372人
R4	79,097人

●コスト指標  
(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	16,765円
R3	12,924円
R4	8,907円

【収入項目】				
使用料・手数料	22,702	3.2%	14,340	8,362
国庫支出金	1,646	0.2%	1,734	△ 88
その他	27,842	4.0%	19,682	8,160
計 ②	52,190	7.4%	35,756	16,434
県単独負担額 ①-②	652,300	92.6%	628,169	24,131

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による県民の外出自粛などが緩和されたことに伴い、入館者数の回復傾向が見られる。令和3年度からは入館者数が増加していることで、行政コストは減少した。  
・大規模特別展の実施等により、入館者数の増加に努めたほか、貸館施設の周知を行うことで利用の向上を図った。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県県民ホール		
所在地	高松市玉藻町9-10	供用開始年度	昭和63年度
施設の種類	文化ホール	施設設置根拠	香川県県民ホール条例
設置目的	県民の文化の振興を図るため。		
施設運営方法	委託：指定管理者(あなぶき文化振興コンソーシアム)		
整備事業費	19,020,237千円	施設の概要	
		【施設】	大ホール棟 小ホール棟
		構造	鉄筋コンクリート 地上6階、地下1階 鉄筋コンクリート 地上6階、地下1階
		建築面積	5,274㎡ 3,635㎡
		収容人員	大ホール 2001席 小ホール 807席
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大ホール(4時間)	38,870 ~ 233,200円	指定管理者	20人
小ホール(4時間)	19,220 ~ 115,280円	財団	8人
多目的大会議室(4時間)	24,010 ~ 64,830円		
			計 28人

行政コスト計算書

【行政コスト】		令和 4 年度	(千円)		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	102,640	11.8%	92,902	9,738
	退職給与引当金繰入等				
	小計	102,640	11.8%	92,902	9,738
物にかかるコスト	物件費	333,489	38.4%	290,825	42,664
	維持補修費	11,233	1.3%	14,450	△ 3,217
	減価償却費	389,444	44.8%	388,315	1,129
	その他	22,769	2.6%	13,620	9,148
	小計	756,934	87.1%	707,210	49,724
その他のコスト	公債費(利子のみ)	9,647	1.1%	10,928	△ 1,281
	その他				
	小計	9,647	1.1%	10,928	△ 1,281
行政コスト合計 ①	869,221	100.0%	811,040	58,181	

●県債残高(R5.3.31現在)

2,630,107 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	79,370人
R3	178,049人
R4	351,896人

(大ホール・小ホールの利用率)

R2	大27.3%、小30.7%
R3	大51.4%、小51.5%
R4	大78.5%、小86.3%

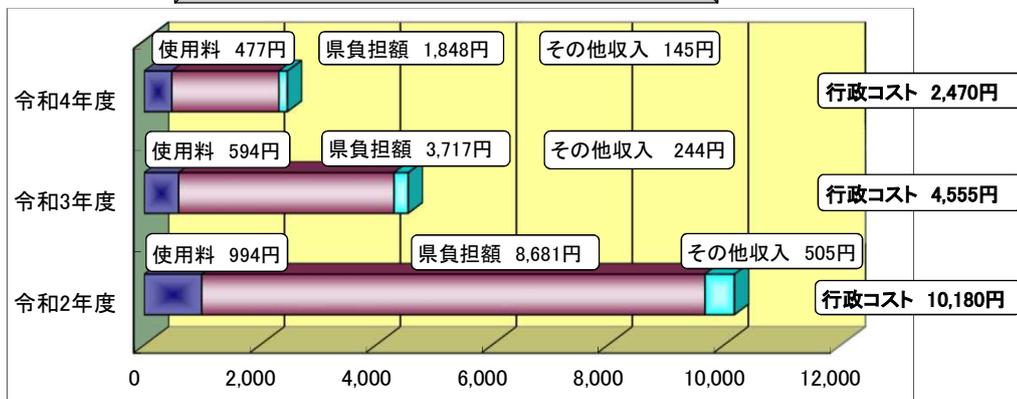
●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	10,180円
R3	4,555円
R4	2,470円

【収入項目】					
使用料・手数料	167,990	19.3%	105,707	62,283	
国庫支出金					
その他	51,084	5.9%	43,484	7,600	
計 ②	219,074	25.2%	149,191	69,883	
県単独負担額 ①-②	650,147	74.8%	661,849	△ 11,702	

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

指定管理者制度を継続し、コスト低減と利用者増に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響の低下等により、利用者数が大きく増加したため、コスト指標が減少した。今後もなお一層の県民サービスの向上と経費の削減に努める。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	東山魁夷せとうち美術館		
所在地	坂出市沙弥島字南通224-13	供用開始年度	平成17年度
施設の種類	文化施設	施設設置根拠	香川県立東山魁夷せとうち美術館条例
設置目的	東山魁夷の作品等の展示、保管等を行なうことにより、本県における文化芸術の振興に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	939,420 千円	施設の概要	
県債	663,843 千円	【施設】 鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上2階 建築面積717.41㎡、延床面積853.15㎡、展示室面積277㎡	
一般財源	275,577 千円		
その他	千円		
利用料金	観覧料	【職員の状況】	
テーマ作品展 一般・大学生	310円(240円)	正規職員 3人	
特別展	展覧会による	会計年度任用職員 1人	
※( )内は団体料金		計 4人	

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	29,526	30.4%	31,251	△ 1,725
	退職給与引当金繰入等	9,097	9.4%		9,097
	小計	38,623	39.8%	31,251	7,372
物にかかるコスト	物件費	39,541	40.8%	30,040	9,501
	維持補修費	2,518	2.6%	103	2,415
	減価償却費	14,729	15.2%	14,729	
	その他				
小計	56,788	58.6%	44,872	11,916	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,534	1.6%	1,665	△ 131
	その他				
	小計	1,534	1.6%	1,665	△ 131
行政コスト合計 ①	96,945	100.0%	77,788	19,157	

●県債残高(R5.3.31現在)

285,346 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	20,439 人
R3	16,023 人
R4	33,305 人

●コスト指標

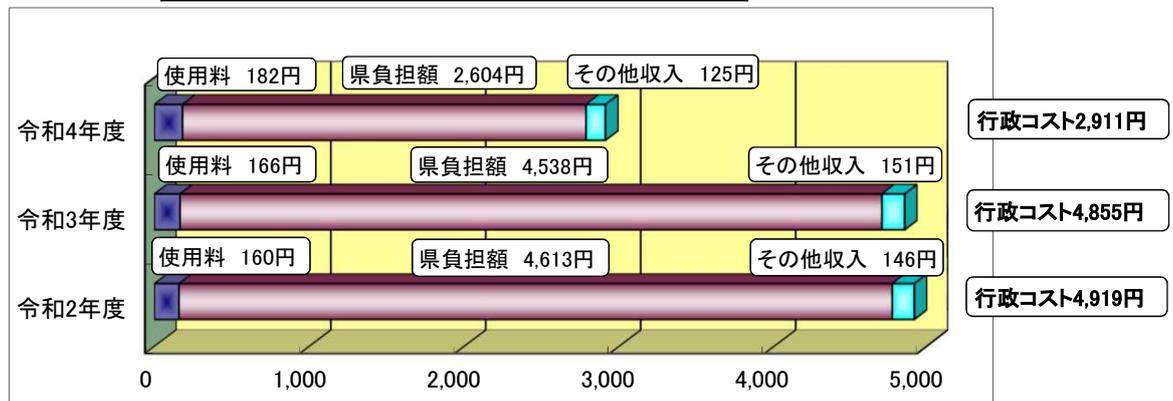
(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	4,919 円
R3	4,855 円
R4	2,911 円

【歳入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	6,063	6.3%	2,653	3,410
国庫支出金	61	0.0%	40	21
その他	4,102	4.2%	2,387	1,715
計 ②	10,226	10.5%	5,080	5,146
県単独負担額 ①-②	86,719	89.5%	72,708	14,011

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

魅力ある特別展の開催とテーマ作品展の展示内容の工夫を図るとともに、効果的PRに努める。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立武道館		
所在地	高松市福岡町一丁目5-5	供用開始年度	昭和41年度
施設の種類	武道館	施設設置根拠	香川県スポーツ施設条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(四電工・シンコースポーツグループ)		
整備事業費	51,388千円	施設の概要	
		【施設】	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積1,863.67㎡ 柔道場378.125㎡ 剣道場378.125㎡ 弓道場237.27㎡
		【職員の状況】	指定管理者 正社員3人 契約社員7人 臨時社員2人 計12人
利用料金	利用料		
専用半面使用9:00~17:00	4,260円		
専用半面使用9:00~13:00	2,290円		
専用半面使用(1時間)9:00~17:00	900円		
個人練習 一般	80円		
個人練習 生徒	60円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)					
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	44,000	71.6%	43,711	289
	退職給与引当金繰入等				
	小計	44,000	71.6%	43,711	289
物にかかるコスト	物件費	11,202	18.2%	9,192	2,010
	維持補修費	3,768	6.1%	2,856	912
	減価償却費	2,273	3.7%	2,273	
	その他				
	小計	17,243	28.0%	14,321	2,922
その他のコスト	公債費(利子のみ)	225	0.4%	280	△ 55
	その他				
	小計	225	0.4%	280	△ 55
行政コスト合計 ①		61,468	100.0%	58,312	3,156

【収入項目】					
使用料・手数料	2,490	4.1%	2,171	319	
国庫支出金					
その他	5,728	9.3%	4,922	806	
計 ②	8,218	13.4%	7,093	1,125	
県単独自負担額 ①-②	53,250	86.6%	51,219	2,031	

● 県債残高(R5.3.31現在) 29,448 千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

R2	29,850人
R3	43,584人
R4	48,025人

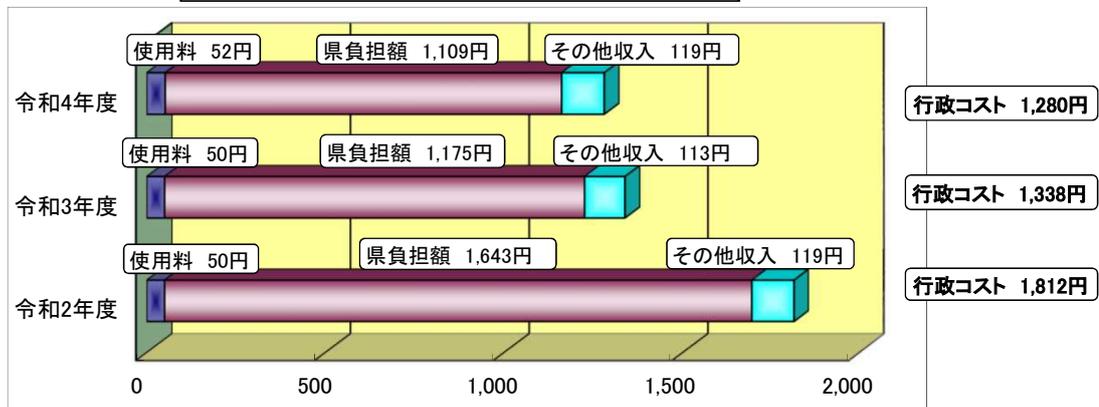
(稼働率(柔道場) 利用日数/開場日数)

R2	99.4%
R3	99.7%
R4	99.7%

● コスト指標 (入館者1人当たりのコスト)

R2	1,812円
R3	1,338円
R4	1,280円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及び利用者サービスの向上に努めている。令和4年度は、研修室を利用した書道教室や健康づくり教室、ヨガ教室、武道教室などを実施し、高齢者や女性など新たな利用者の獲得に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立総合水泳プール		
所在地	高松市御厩町1585-1	供用開始年度	平成2年度
施設の種類	プール	施設設置根拠	香川県スポーツ施設条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（シンコースポーツ・四電ビジネスグループ）		
整備事業費	1,248,590千円	施設の概要	
		【施設】 管理棟 RC造 3階建 2,966㎡ 屋内プール棟 RC造 2階建 2,029㎡ トレーニング室棟 RC造 平屋建 422㎡ 飛込みプール棟 RC造 平屋建 522㎡	
利用料金	使用料金	【職員の状況】 指定管理者 正規社員11人 嘱託社員1人 契約社員1人 臨時社員20人 財団職員2人 計35人	
一般プール(夏)	370円		
一般プール(冬)	530円		
トレーニング一般(通年)	220円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	106,257	49.3%	110,735	△ 4,478
	退職給与引当金繰入等				
	小計	106,257	49.3%	110,735	△ 4,478
物にかかるコスト	物件費	49,689	23.0%	53,223	△ 3,534
	維持補修費	6,744	3.1%	9,742	△ 2,998
	減価償却費	52,325	24.3%	52,204	121
	その他				
小計	108,758	50.4%	115,169	△ 6,411	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	672	0.3%	344	328
	その他				
	小計	672	0.3%	344	328
行政コスト合計 ①	215,687	100.0%	226,248	△ 10,561	

● 県債残高(R5.3.31現在)

230,000 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

R2	73,971人
R3	105,195人
R4	116,229人

(プールの利用率 利用日数/開場日数)

R2	100.0%
R3	100.0%
R4	100.0%

● コスト指標

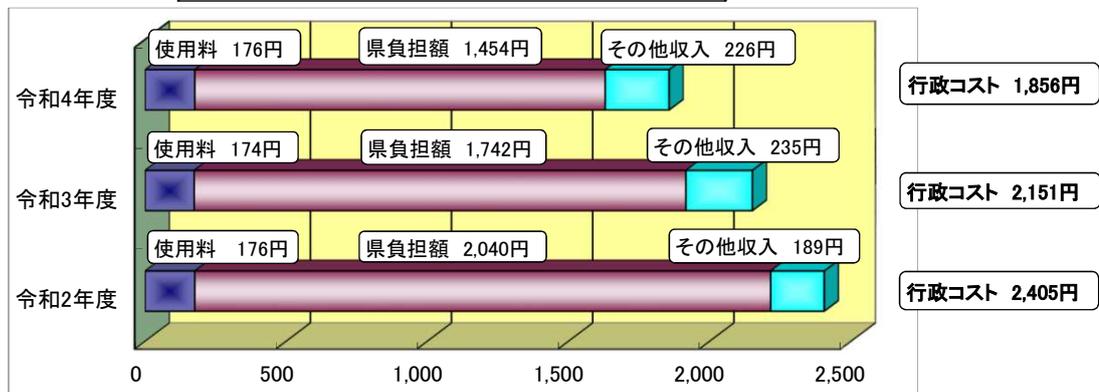
(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	2,405円
R3	2,151円
R4	1,856円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	20,465	9.5%	18,311	2,154
国庫支出金				
その他	26,299	12.2%	24,720	1,579
計 ②	46,764	21.7%	43,031	3,733
県単独負担額 ①-②	168,923	78.3%	183,217	△ 14,294

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

平成20年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。令和4年度は、利用者ニーズに応じたフィットネス教室の開催やトレーニングルーム内のマシン修繕を実施し、利用者サービス向上を図った。また、HPだけでなくSNSで積極的な広報活動を行ったほか、LINEクーポンの導入等により、利用者の定着・新規獲得にも努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県総合運動公園		
所在地	高松市生島町614番地	供用開始年度	昭和57年度
施設の種類	運動公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(いくしまスポーツチャレンジ共同体)		
整備事業費	6,578,642千円	施設の概要	
		【施設】	県営野球場 県営第二野球場 県営テニスコート 県営サッカー・ラグビー場 県営第二サッカー・ラグビー場 県営相撲場 多目的広場 芝生広場 駐車場
利用料金	使用料	【職員の状況】	
県営野球場(1日)	15,580円	指定管理者	
県営第二野球場(1日)	12,430円	正規社員4人 契約社員2人 臨時社員13人 財団職員5人 計24人	
県営テニスコート(1時間)	520円		
県営サッカー・ラグビー場(1日)	10,740円		
県営第二サッカー・ラグビー場(1日)	8,540円		
県営相撲場(1日)	3,130円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)					
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	73,016	35.0%	72,517	499
	退職給与引当金繰入等				
	小計	73,016	35.0%	72,517	499
物にかかるコスト	物件費	72,622	34.8%	78,315	△ 5,693
	維持補修費	6,411	3.1%	4,102	2,309
	減価償却費	55,798	26.8%	55,294	504
	その他				
	小計	134,831	64.7%	137,711	△ 2,880
その他のコスト	公債費(利子のみ)	654	0.3%	522	132
	その他				
	小計	654	0.3%	522	132
行政コスト合計 ①		208,501	100.0%	210,750	△ 2,249

【収入項目】					
使用料・手数料	19,376	9.3%	19,247	129	
国庫支出金					
その他	13,703	6.6%	13,559	144	
計 ②	33,079	15.9%	32,806	273	
県単独自負担額 ①-②	175,422	84.1%	177,944	△ 2,522	

●県債残高(R5.3.31現在)

310,595 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	88,236人
R3	137,543人
R4	212,544人

(県営野球場の稼働率 利用日数/開場日数)

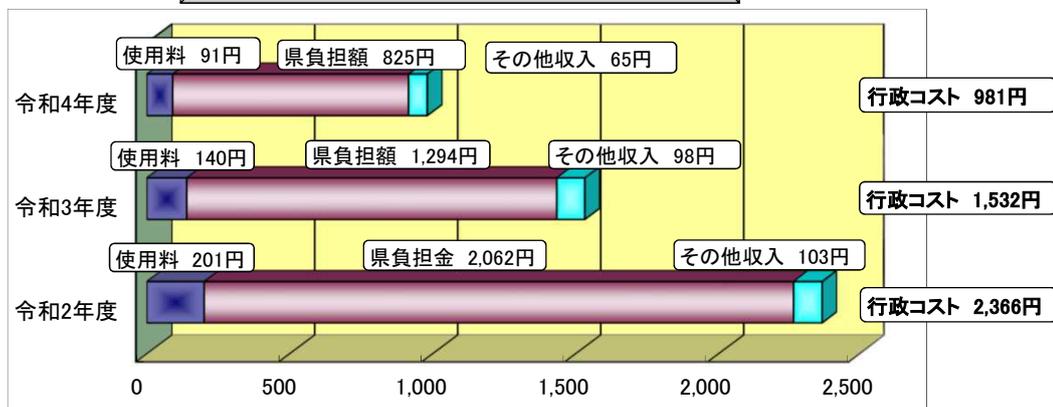
R2	65.7%
R3	68.9%
R4	60.3%

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	2,366円
R3	1,532円
R4	981円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成20年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。昨年に引き続き、施設利用のキャンセルや空きが発生している場合、各種団体に積極的に案内し、利用促進を図った。また、利用者の要望に応じて、施設の早期開場を実施したほか、HP等で積極的な広報活動を実施した。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立丸亀競技場		
所在地	丸亀市金倉町830	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	競技場 第1種公認陸上競技場	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(四電エグループ)		
整備事業費	18,535,918千円	施設の概要	
		【施設】	敷地面積 10.2ha 建築面積 17,923㎡ 延床面積 32,736㎡ トラック・フィールド 約2ha(全天候競技場) トラック 400mトラック9レーン(天然芝 106m×69.5m)
		【職員の状況】	指定管理者 正規社員10人 契約社員10人 臨時社員12人 計32人
利用料金	施設使用料		
専用使用(9:00~17:00)	41,900円		
共用使用(生徒)	150円		
共用使用(一般)	310円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	79,234	15.1%	79,397	△ 163
	退職給与引当金繰入等				
	小計	79,234	15.1%	79,397	△ 163
物にかかるコスト	物件費	84,525	16.1%	80,060	4,465
	維持補修費	10,093	1.9%	10,048	45
	減価償却費	341,753	65.2%	341,753	
	その他	29	0.0%	15	14
	小計	436,400	83.2%	431,876	4,524
その他のコスト	公債費(利子のみ)	8,631	1.7%	9,643	△ 1,012
	その他				
	小計	8,631	1.7%	9,643	△ 1,012
行政コスト合計 ①	524,265	100.0%	520,916	3,349	

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	23,734	4.5%	22,653	1,081
国庫支出金				
その他	22,869	4.4%	16,528	6,341
計 ②	46,603	8.9%	39,181	7,422
県単独負担額 ①-②	477,662	91.1%	481,735	△ 4,073

●県債残高(R5.3.31現在)

2,701,438 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	152,109人
R3	161,307人
R4	234,768人

(主競技場の稼働率 利用日数/開場日数)

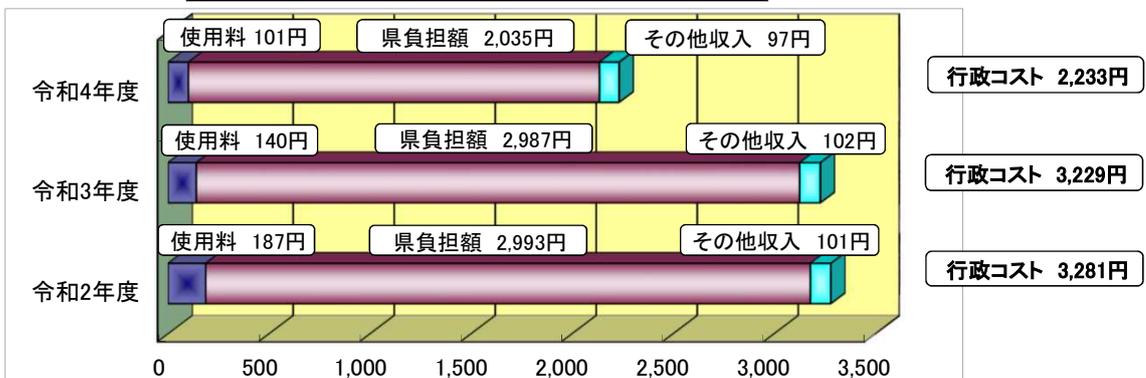
R2	100.0%
R3	99.7%
R4	100.0%

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	3,281円
R3	3,229円
R4	2,233円

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成19年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。  
令和4年度は、LINEやFacebookによる積極的な情報発信を行った。また、屋外・屋内施設を活用した各種スポーツ教室を開設し、子ども・女性・高齢者など新たな利用者の獲得に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	瀬戸大橋記念公園		
所在地	香川県坂出市番の州緑町、沙弥島	供用開始年度	昭和63年度
施設の種類	都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	瀬戸大橋の意義や歴史を長く後世に残し伝えるため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）瀬戸大橋記念公園管理協会）		
整備事業費	5,878,003千円	施設の概要	【施設】 総面積 22.5 ha 瀬戸大橋記念館、マリンドーム、水の回廊、浜栗林、遍路ギャラリー、芝生広場、球技場、ターゲット・パードゴルフ場
県債	3,650,600千円	【職員の状況】	
一般財源	1,091,585千円		
その他	1,135,818千円		
利用料金		職員	5名
記念館入館料	無料	準職員	4名
ブリッジシアター観覧料	無料	計	9名
球技場(学校等)	490円/時間		
ターゲット・パードゴルフ場	150円/人・時間		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】	令和 4 年度	(千円)			
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	30,285	10.9%	30,733	△ 448
	小計	30,285	10.9%	30,733	△ 448
物にかかるコスト	物件費	37,491	13.5%	31,101	6,390
	維持補修費	90,376	32.5%	90,242	134
	減価償却費	94,658	34.0%	94,658	
	その他	3,844	1.4%	3,506	338
小計	226,369	81.4%	219,507	6,862	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,982	0.7%	1,907	75
	その他	19,548	7.0%	17,975	1,573
	小計	21,530	7.7%	19,882	1,648
行政コスト合計 ①	278,184	100.0%	270,122	8,062	

● 県債残高(R5.3.31現在)

385,082 千円

● 利用の状況

(公園利用者数)

R2	313,800 人
R3	322,800 人
R4	414,600 人

(マリンドーム利用日数)

R2	15 日
R3	21 日
R4	28 日

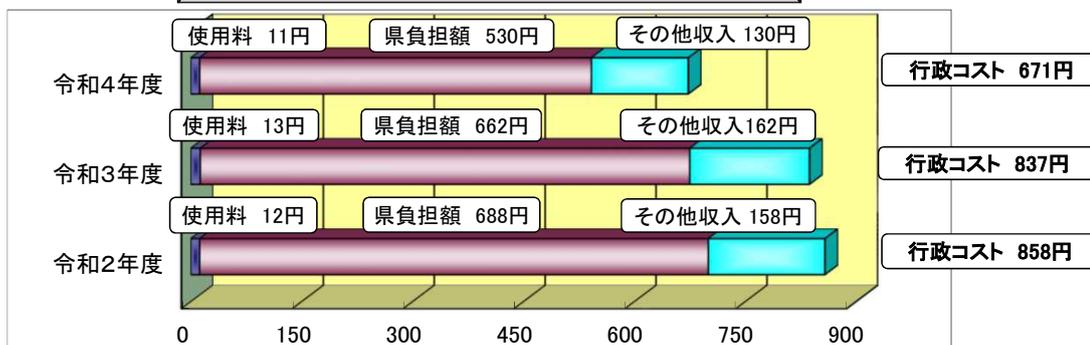
● コスト指標

(公園利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	858 円
R3	837 円
R4	671 円

【収入項目】				
使用料・手数料	4,447	1.6%	3,997	450
国庫支出金				
その他	54,111	19.5%	52,368	1,743
計 ②	58,558	21.1%	56,365	2,193
県単独負担額 ①-②	219,626	78.9%	213,757	5,869

## 利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・公園維持管理業務内容の見直し(剪定樹木の選別、施工回数の見直し等)
- ・活性化対策の実施(広報・案内の充実、観客誘致)
- ・利便性の向上(公園施設の充実、上映映像作品の更新)

# 公共施設のコスト計算書

施設名	栗林公園		
所在地	高松市栗林町一丁目1564番地の2	供用開始年度	明治8年
施設の種類	特別名勝、都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	公共の福祉の増進に資する都市公園としての役割と貴重な文化財の保存と観光資源の活用を図るため		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	国の特別名勝に指定されている庭園の中で、最大の広さを持つ江戸時代初期の回遊式大名庭園。明治4年に高松藩が廃され、新政府の所有となったが、明治8年、県立公園として一般公開され、現在に至る。
		【職員の状況】	
利用料金	入園料	所長	総務課長 — 副主幹(2)主任(1) { 会計年度任用(5) 造園課長 — 副主幹(1)主任(5)(造園技術6名) { 技師(3)(造園技術3名) 会計年度任用(3)
大人	410円		
小人	170円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	221,184	57.3%	216,243	4,941
退職給与引当金繰入等				
小計	221,184	57.3%	216,243	4,941
物にかかるコスト				
物件費	103,036	26.7%	154,918	△ 51,882
維持補修費	3,579	0.9%	3,857	△ 278
減価償却費	57,060	14.8%	52,298	4,762
その他				
小計	163,675	42.4%	211,073	△ 47,398
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	1,120	0.3%	1,138	△ 18
その他				
小計	1,120	0.3%	1,138	△ 18
行政コスト合計 ①	385,979	100.0%	428,454	△ 42,475

### 【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	193,683	50.2%	97,918	95,765
国庫支出金			31,254	△ 31,254
その他	8,568	2.2%	14,143	△ 5,575
計 ②	202,251	52.4%	143,315	58,936
県単独負担額 ①-②	183,728	47.6%	285,139	△ 101,411

● 県債残高 (R5.3.31現在)

328,005 千円

● 利用の状況

(年間入園者数)

R2	359,199人
R3	306,399人
R4	577,588人

(個人での利用率)

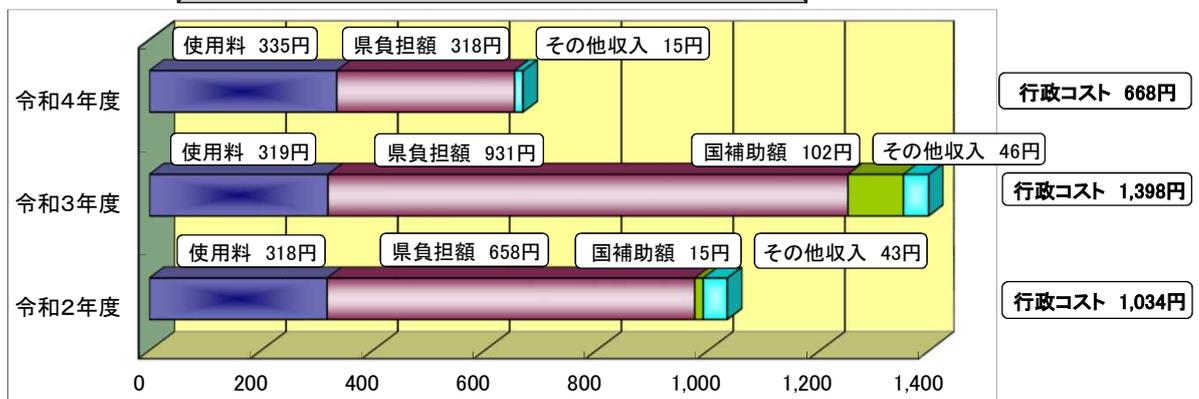
R2	97.7%
R3	98.4%
R4	96.0%

● コスト指標

(入園者1人当たりにかかるコスト)

R2	1,034円
R3	1,398円
R4	668円

## 入園者1人当たりのコスト負担の状況



### ● コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

本園は、約75haにも及ぶ文化財庭園であるが、令和4年度についても、利用者の利便性の向上を図るため、園内既存施設の修繕等を行いつつも、園内資源を利用したり、効果的・効率的な運営により経費削減に努めた。また、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらのイベントの実施など、入園者の安全確保に配慮しつつ、集客に向けた取組みを実施した。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川用水記念公園		
所在地	三豊市財田町財田中2355	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	公園	施設設置根拠	香川用水記念公園条例
設置目的	香川用水の歴史と恩恵を永く後世に伝える。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（公益財団法人かがわ水と緑の財団）		
整備事業費	3,367,978千円	施設の概要	
県債	2,947,000千円	【施設】 設備面積	6ha
一般財源	420,978千円	屋外施設	遊具（足踏水車、3連水車、アルキメデスのポンプ等） 駐車場 3ヶ所
		屋外建築	休憩所 1ヶ所 便所 3ヶ所 機械棟 1棟 汚水処理施設 1棟
		水の資料館	RC鉄筋コンクリート造 地上3階建 建築面積 779㎡ 延べ床面積 1,728㎡
利用料金	観覧料	【職員の状況】	
無料開放		職員 3名 臨時職員 3名	

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	16,404	17.0%	16,408	△ 4
退職給与引当金繰入等				
小計	16,404	17.0%	16,408	△ 4
物にかかるコスト				
物件費	12,648	13.1%	10,314	2,334
維持補修費	50,137	52.1%	32,724	17,413
減価償却費	14,780	15.4%	14,780	
その他	1,842	1.9%	1,819	23
小計	79,407	82.5%	59,637	19,770
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	490	0.5%	585	△ 95
その他				
小計	490	0.5%	585	△ 95
行政コスト合計 ①	96,301	100.0%	76,630	19,671

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料				
国庫支出金				
その他				
計 ②				
県単独負担額 ①-②	96,301	100.0%	76,630	19,671

● 県債残高 (R5.3.31現在)

358,766 千円

● 利用の状況

(年間入園者数)

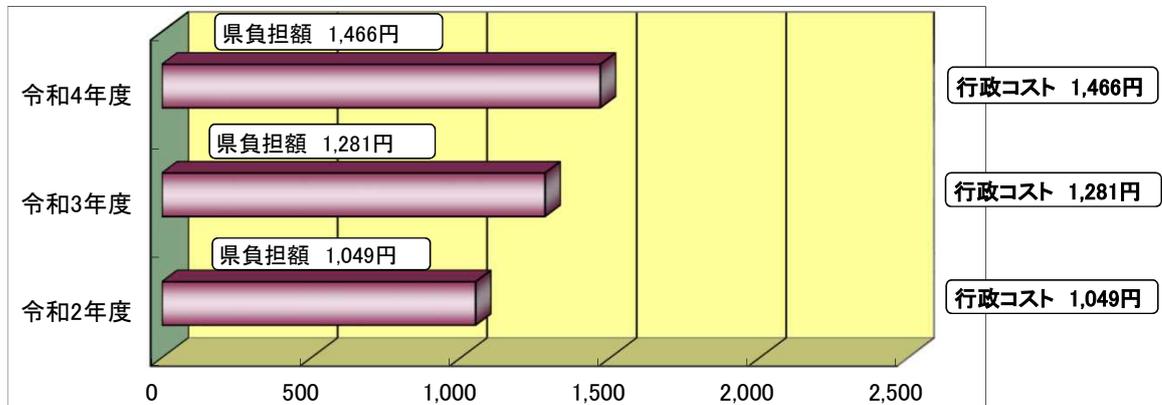
R2	58,205人
R3	59,810人
R4	65,710人

● コスト指標

(入園者1人当たりのコスト)

R2	1,049円
R3	1,281円
R4	1,466円

## 入園者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・公園のパンフレットを県内の全小中学校及び幼稚園・保育所等に配付するとともに、ホームページでも広報を行っている。
- ・電気使用量をデマンド管理し、省エネ及び経費節減に取り組んでいる。
- ・校外学習と親子体験教室を自主事業として開催するとともに、水資源対策課の水資源巡りの旅「小・中学生の旅」を受け入れている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県産業交流センター(サンメッセ香川)		
所在地	高松市林町2217-1	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	コンベンション施設	施設設置根拠	香川県産業交流センター条例
設置目的	人・物・情報の集積、交流、発信の場として、見本市、展示会などを介した産業交流、技術開発の促進により、地域産業や経済の活性化に寄与する。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(穴吹エンタープライズ株式会社)		
整備事業費	10,679,105千円	施設の概要	
県債	8,518,000千円	【施設】 地下1階、地上3階(鉄筋コンクリート造)延床面積約12,000㎡、敷地約37,000㎡	
繰入	1,280,000千円	大展示場	4,015㎡
一般財源	881,105千円	小展示場	1,022㎡
		サンメッセホール	516㎡
		その他、会議室等	
利用料金	利用料	【職員の状況】	
大展示場全面平日全日	464,000円	指定管理者職員	12名
小展示場平日全日	157,000円		
大会議室全面全日	78,240円		
※(全日:9:00~17:00)			

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	49,791	14.4%	46,196	3,595
小計	49,791	14.4%	46,196	3,595
物にかかるコスト				
物件費	111,664	32.2%	90,098	21,566
維持補修費	24,441	7.0%	17,725	6,716
減価償却費	152,447	44.0%	137,873	14,574
その他	6,899	2.0%	5,031	1,868
小計	295,451	85.2%	250,727	44,724
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	1,425	0.4%	40	1,385
その他				
小計	1,425	0.4%	40	1,385
行政コスト合計 ①	346,667	100.0%	296,963	49,704

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	159,476	46.0%	77,862	81,614
国庫支出金				
その他	1,694	0.5%	1,658	36
計 ②	161,170	46.5%	79,520	81,650
県単独負担額 ①-②	185,497	53.5%	217,443	△ 31,946

●県債残高(R5.3.31現在)

595,000 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

R2	78,000人
R3	92,000人
R4	262,000人

(大展示場の稼働率)

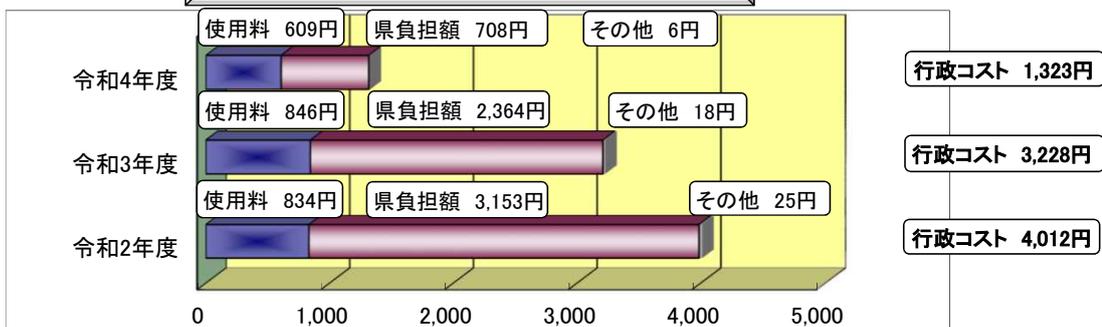
R2	12.1%
R3	19.8%
R4	40.1%

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

R2	4,012円
R3	3,228円
R4	1,323円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

令和2~3年度には、利用者の安全性確保と利便性向上を図るべく、大規模改修工事を行い、順次貸館を休止した。これに加え、令和2年3月以降は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したことを受け、施設内に手指消毒液を設置したほか、サーモカメラや非接触体温計を無料貸し出しする等、感染防止対策を徹底した。令和4年度は、緊急事態宣言の発令等が無かったことなどから、利用者数は、コロナ前の令和元年度の48%程度まで回復した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)		
所在地	高松市林町2217-44	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県新規産業創出支援センター条例
設置目的	企業等の技術の高度化や新分野進出等を支援することにより、本県の産業の振興を図る。		
施設運営方法	全部委託・指定管理((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	1,722,336千円	施設の概要	
県債	927,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積2,500㎡、延床面積2,721㎡ インキュベート工房、EMC総合試験施設(大型・小型電波暗室等)	
国庫支出金	640,740千円		
一般財源	154,596千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	
インキュベート工房使用料	1,560~1870円/㎡	指定管理者職員 5名(うち2名はFROM香川兼務)	
電波暗室使用料	2,280~35,780円/時間		
会議室使用料等	110~1,560円/時間		
電磁波特性試験手数料	4,930~30,710円/通		
電磁環境試験成績書発行手数料	420~22,000円/通		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		令和 4 年度	(千円)		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	16,309	17.7%	16,216	93
	退職給与引当金繰入等				
	小計	16,309	17.7%	16,216	93
物にかかるコスト	物件費	9,475	10.3%	10,930	△ 1,455
	維持補修費	36,358	39.4%	37,317	△ 959
	減価償却費	27,404	29.7%	27,404	
	その他				
小計	73,237	79.4%	75,651	△ 2,414	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	264	0.3%	215	49
	その他	2,449	2.6%	1,795	654
	小計	2,713	2.9%	2,010	703
行政コスト合計 ①	92,259	100.0%	93,877	△ 1,618	

【収入項目】				
使用料・手数料	59,198	64.2%	59,752	△ 554
国庫支出金				
その他				
計 ②	59,198	64.2%	59,752	△ 554
県単独負担額 ①-②	33,061	35.8%	34,125	△ 1,064

● 県債残高 (R5.3.31現在) 170,287 千円

● 利用の状況 (インキュベート工房入居企業数)

R2	7社
R3	8社
R4	8社

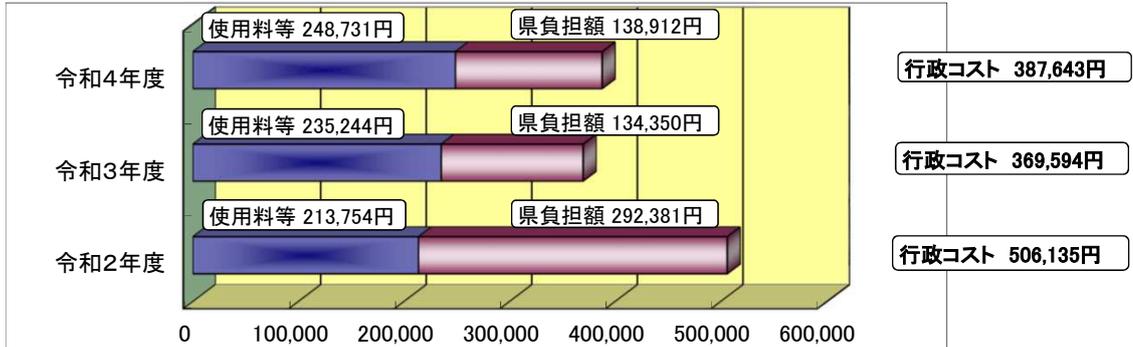
(EMC総合試験施設利用企業数)

R2	延べ245社
R3	延べ246社
R4	延べ230社

● コスト指標 (利用1企業当たりのコスト)

R2	506,135円
R3	369,594円
R4	387,643円

利用1企業当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。指定管理者のホームページ等への掲載によりインキュベート工房の入居者募集を行った。一般型と情報通信型のインキュベート工房を設け、多様なニーズに対応しているほか、指定管理者のホームページでEMC総合試験施設の紹介及び予約状況を掲載した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県科学技術研究センター(FROM香川)		
所在地	高松市林町2217-16	供用開始年度	平成12年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県科学技術研究センター条例
設置目的	産学官の連携による科学技術に関する研究開発を促進することによりその成果を活用した新規産業の創出及び地域産業の技術の高度化を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	2,425,723千円	施設の概要	
県債	2,262,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積4,872㎡、延床面積3,106㎡ 研究室(レンタル・ラボ)、共同機器室、バイオ関連共同実験室	
一般財源	163,723千円		
		【職員の状況】	
		指定管理者職員 2名(ネクスト香川兼務)	
利用料金	使用料		
研究室使用料	0~3,130円/㎡		
共同機器室機器使用料	680~4,400円/時間		
バイオ関連共同実験室機器使用料	20~350円/時間		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	ネクスト香川に一括計上			
人件費				
退職給与引当金繰入等				
小計				
物にかかるコスト	5,525	7.4%	7,757	△ 2,232
物件費	32,627	43.8%	33,651	△ 1,024
維持補修費	34,790	46.7%	34,790	
減価償却費				
その他				
小計	72,942	97.9%	76,198	△ 3,256
その他のコスト	1,582	2.1%	1,770	△ 188
公債費(利子のみ)			37	△ 37
その他				
小計	1,582	2.1%	1,807	△ 225
行政コスト合計 ①	74,524	100.0%	78,005	△ 3,481

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	117	0.2%	275	△ 158
国庫支出金				
その他				
計 ②	117	0.2%	275	△ 158
県単独負担額 ①-②	74,407	99.8%	77,730	△ 3,323

● 県債残高(R5.3.31現在)

295,184 千円

● 利用の状況

(研究室入居グループ数)

R2	12グループ
R3	12グループ
R4	12グループ

(共同機器室等利用企業・グループ数)

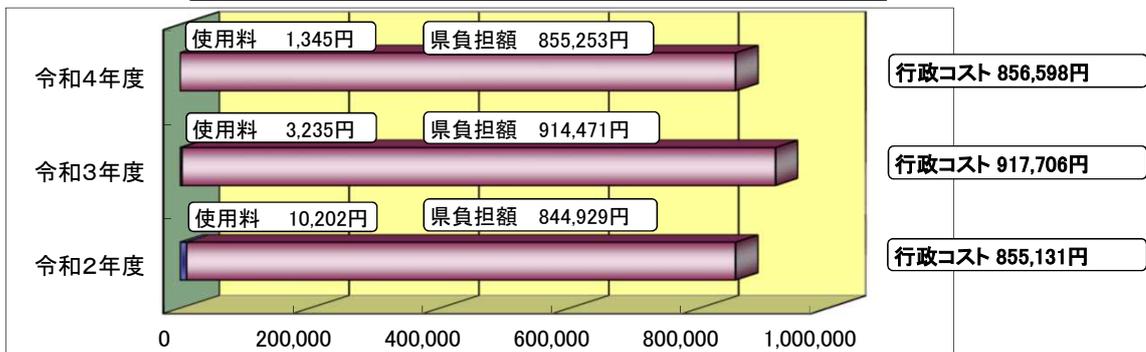
R2	延べ72
R3	延べ73
R4	延べ75

● コスト指標

(利用1企業・グループ当たりのコスト)

R2	855,131円
R3	917,706円
R4	856,598円

利用1企業・グループ当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。企業や大学等の研究開発を支援するためバイオ関連の研究機器等を安価な使用料で開放しており、指定管理者のホームページ等でその利用を呼びかけた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	香川県番町地下駐車場		
所在地	高松市番町3丁目1番1号	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	高松市中心部の駐車場不足に対処し、道路交通の円滑化を図り、もって県民の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（西日本ビル管理株式会社）		
整備事業費	4,534,606千円	施設の概要	
県債	4,530,000千円	【施設】	鉄筋コンクリート造、地下2階、自走式
その他	4,606千円		延べ 13,568.2㎡
			駐車台数 339台
利用料金	使用料	【職員の状況】	
普通料金(25分ごと)(H18.8～)	100円		指定管理者職員6人(状況に応じて本社より応援要員派遣)
昼間割引(6:30～18:00)(土日祝のみ)	最大1,200円		
夜間割引(18:00～8:00)	最大800円		
定期駐車(1台につき1月)	20,000円		
定期駐車(1台につき3月)	54,000円		
定期駐車(1台につき6月)	96,000円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	13,358	9.1%	13,334	24
	小計	13,358	9.1%	13,334	24
物にかかるコスト	物件費	13,517	9.2%	14,097	△ 580
	維持補修費	16,895	11.6%	909	15,986
	減価償却費	90,692	62.0%	90,692	
	その他	2,547	1.7%	2,062	485
小計	123,651	84.5%	107,760	15,891	
その他のコスト	公債費(利子のみ)				
	その他	9,313	6.4%	9,979	△ 666
小計	9,313	6.4%	9,979	△ 666	
行政コスト合計 ①	146,322	100.0%	131,073	15,249	

●県債残高(R5.3.31現在)

— 千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

R2	61,138台
R3	63,592台
R4	71,124台

(1台当たり平均使用料)

R2	722円
R3	682円
R4	665円

●コスト指標

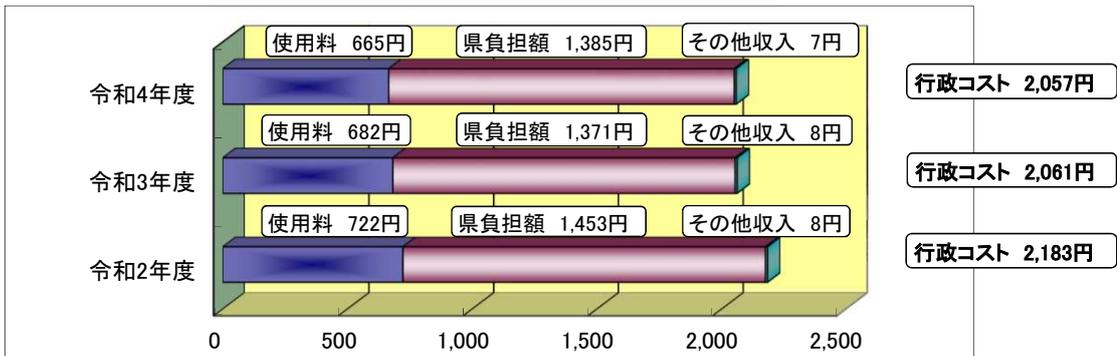
(1台当たりにかかるコスト)

R2	2,183円
R3	2,061円
R4	2,057円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	47,333	32.3%	43,345	3,988
国庫支出金				
その他	522	0.4%	487	35
計 ②	47,855	32.7%	43,832	4,023
県単独自負担額 ①-②	98,467	67.3%	87,241	11,226

## 駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

回数券(プリペイドカード)や定期駐車をPRし、通勤者など定期的な利用者の獲得に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県玉藻町駐車場		
所在地	高松市玉藻町12番2号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	玉藻地区における駐車場不足の解消及び道路交通の円滑化を図り、県民の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（西日本ビル管理株式会社）		
整備事業費	3,449,782千円	施設の概要	
県債	3,198,000千円	【施設】	鉄骨造（一部PC造）、地上3階、自走式
その他	251,782千円		延べ 11,409.99㎡
			駐車台数 333台
利用料金	使用料	【職員の状況】	
普通料金(25分ごと)(H18.8～)	100円		指定管理者職員5人(状況に応じて本社より応援要員派遣)
夜間割引(23:00～7:30)	最大500円		
定期駐車(1台につき1月)	14,000円		
定期駐車(1台につき3月)	37,800円		
定期駐車(1台につき6月)	67,200円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	14,158	14.6%	10,357	3,801
小計	14,158	14.6%	10,357	3,801
物にかかるコスト				
物件費	11,488	11.8%	8,281	3,207
維持補修費	573	0.6%	286	287
減価償却費	68,996	71.0%	68,996	
その他	1,541	1.6%	1,462	79
小計	82,598	85.0%	79,025	3,573
その他のコスト				
公債費(利子のみ)				
その他	387	0.4%	5,584	△ 5,197
小計	387	0.4%	5,584	△ 5,197
行政コスト合計 ①	97,143	100.0%	94,966	2,177

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	49,916	51.4%	26,199	23,717
国庫支出金				
その他				
計 ②	49,916	51.4%	26,199	23,717
県単独負担額 ①-②	47,227	48.6%	68,767	△ 21,540

●県債残高(R5.3.31現在)

- 千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

R2	20,999台
R3	31,158台
R4	61,989台

(1台当たり平均使用料)

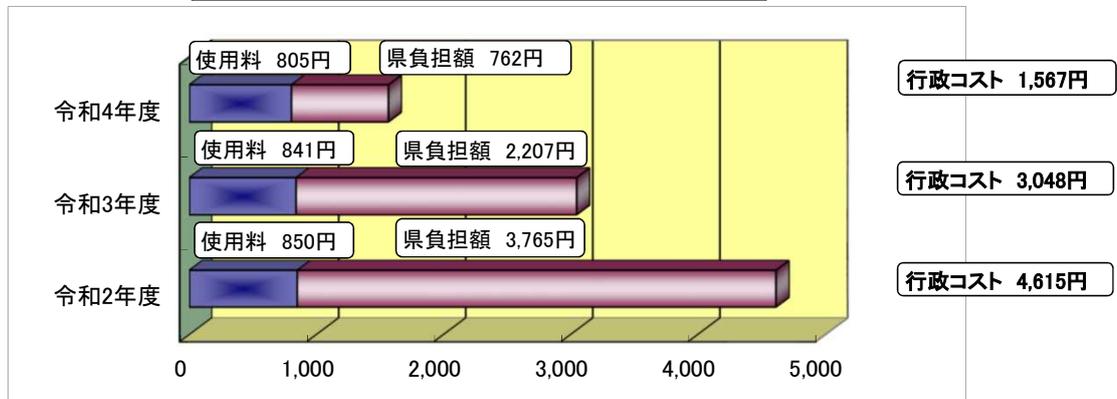
R2	850円
R3	841円
R4	805円

●コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

R2	4,615円
R3	3,048円
R4	1,567円

駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

回数券(プリペイドカード)や定期駐車をPRし、通勤者など定期的な利用者の獲得に努めた。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	多目的広場地下駐車場		
所在地	香川県高松市サンポート4	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松地区における施設整備等に伴う駐車場需要に対応するため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(シンボルタワー開発株式会社)		
整備事業費	5,949,800千円	施設の概要	
- 県債	5,092,000千円	【施設】 鉄筋コンクリート、地下2階、自走式 延べ 駐車場：14,056㎡、連絡通路：1,093㎡ 駐車台数302台	
- その他	857,800千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	
- 普通料金(2h未満 20分毎)	100円	シンボルタワー開発株式会社(指定管理者)の職員10人でサンポート高松の施設を管理運営 このうち1.3人分を多目的広場地下駐車場で負担	
- 普通料金(2h～6h 30分毎)	100円		
- 普通料金(6h～12h)	1,400円		
- 平日定期(平日6:30～24:00、1月)	18,000円		
- 夜間定期(17:30～9:00、1月)	10,000円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	5,834	3.1%	6,244	△ 410
	退職給与引当金繰入等				
	小計	5,834	3.1%	6,244	△ 410
物にかかるコスト	物件費	17,702	9.4%	14,818	2,884
	維持補修費	33,534	17.9%	33,366	168
	減価償却費	118,996	63.4%	118,996	
	その他	75	0.0%	74	1
	小計	170,307	90.7%	167,254	3,053
その他のコスト	公債費(利子のみ)	5,061	2.7%	7,872	△ 2,811
	その他	6,636	3.5%	6,420	216
	小計	11,697	6.2%	14,292	△ 2,595
行政コスト合計 ①	187,838	100.0%	187,790	48	

● 県債残高(R5.3.31現在)

216,051 千円

● 利用の状況

(年間駐車台数)

R2	75,494台
R3	83,879台
R4	98,326台

(1台当たり平均使用料)

R2	742円
R3	743円
R4	783円

● コスト指標

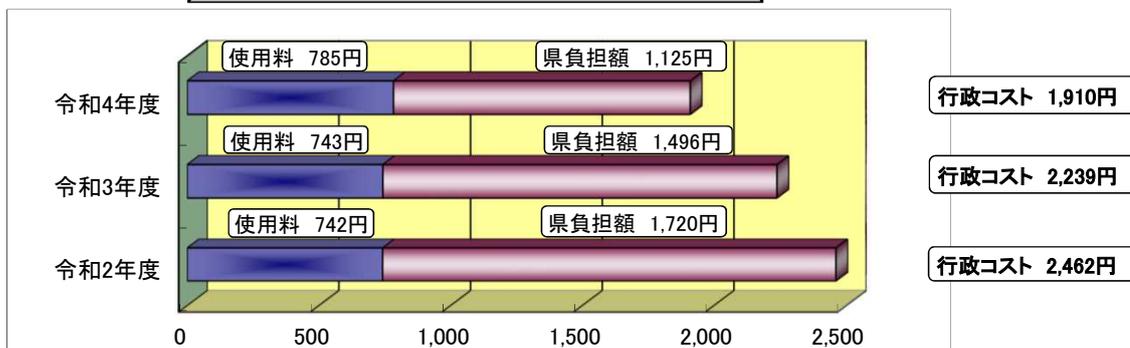
(1台当たりにかかるコスト)

R2	2,462円
R3	2,239円
R4	1,910円

【歳入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	77,156	41.1%	62,351	14,805
国庫支出金				
その他			3	△ 3
計 ②	77,156	41.1%	62,354	14,802
県単独負担額 ①-②	110,682	58.9%	125,436	△ 14,754

## 駐車1台当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者を公募することにより、管理費のコスト縮減を図っている。また、指定管理者の広報・営業により利用促進を図るとともに、利用者の視点に立った利便性の向上に努めた。  
令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が和らいで利用が回復傾向を見せた。前年、前々年よりも使用料収入は回復したことから1台当たりコストは大幅に低下した。

# 公共施設のコスト計算書

施設名	高松空港県営駐車場		
所在地	高松市香南町大字岡1264-6他	供用開始年度	平成26年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	高松空港における駐車場需要に対応し、利用者の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託:指定管理者(高松空港株式会社)		
整備事業費	80,394千円	施設の概要	<b>【施設】</b> 屋外平面駐車場 駐車場:1,718.63㎡、車路:4,409.03㎡ 駐車台数150台
県債	77,000千円	<b>【管理運営】</b> 平成30年4月1日より、高松空港株式会社(指定管理者)が施設を管理運営。 利用料金制度を導入し、指定管理者が料金収入を原資として維持管理運営等を行っている。	
その他	3,394千円		
利用料金	使用料		
1時間まで	無料		
1時間～2時間、30分毎	100円		
2時間以上24時間まで、1時間毎	150円		
5時間以上24時間まで	800円		
定期料金(1台につき1月)	5,140円		
定期料金(1台につき3月)	13,870円		
定期料金(1台につき6月)	24,670円		

## 行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 4 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費				
退職給与引当金繰入等				
小計				
物にかかるコスト				
物件費	4,714	66.6%	3,486	1,228
維持補修費				
減価償却費	1,511	21.3%	1,511	
その他	388	5.5%	388	
小計	6,613	93.4%	5,385	1,228
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	470	6.6%	505	△ 35
その他				
小計	470	6.6%	505	△ 35
行政コスト合計 ①	7,083	100.0%	5,890	1,193

【歳入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料				
国庫支出金				
その他	10,852	153.2%	453	10,399
計 ②	10,852	153.2%	453	10,399
県単独自負担額 ①-②	△ 3,769	-53.2%	5,437	△ 9,206

●県債残高(R5.3.31現在)

55,427 千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

R2	89台
R3	315台
R4	5,651台

(1台当たり平均使用料)

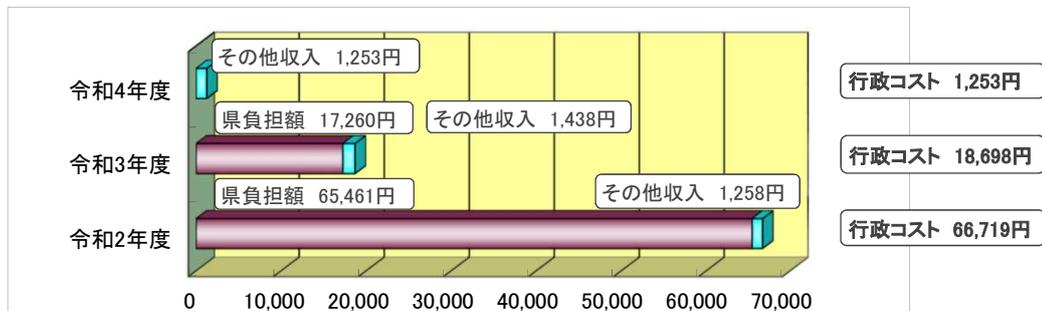
R2	1,258円
R3	1,438円
R4	1,920円

●コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

R2	66,719円
R3	18,698円
R4	1,253円

## 駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

年度当初は、新型コロナウイルス感染症に伴う高松空港利用者の減少が継続したことにより、営業を一時休止したが、多客期となる夏休み以降、駐車場利用収入が大幅に増加したため、令和4年7月15日以降は継続営業した。利用台数がコロナ前の水準に改善したことから、1台当たりにかかるコストは大幅に減少している。  
また、指定管理者では、引き続き、営業休止期間の委託料縮減に取り組むとともに、一部業務を内製化することによりコスト縮減を図っている。